

# 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

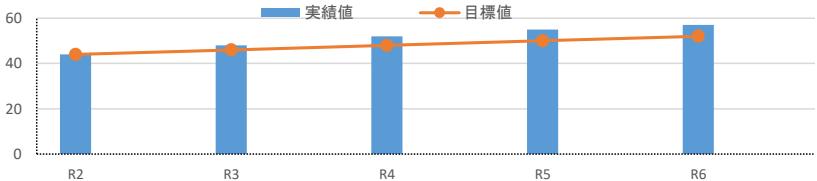
## 青森圏域連携中枢都市圏 令和6年度評価一覧

No.	事業名	目標とする指標	R5評価	R6評価	上昇 下降	備考
1	連携中枢都市圏ビジョン懇談会の運営	連携中枢都市圏ビジョンに記載する具体的な取組数	A	A		
2	起業・創業等支援拠点運営事業	創業件数				NO.4に統合
3	中小事業者ビジネスサポート事業	相談件数				NO.4に統合
4	地域企業ビジネス支援拠点運営事業	創業件数	A	A		
		相談窓口での年間相談件数	A	A		
5	首都圏ビジネス交流拠点運営事業	売上額	B	B		
6	あおもり新しい働き方支援事業（企業誘致活動）	圏域への立地企業数（累計）	A	B	⬇	
7	企業誘致関係機関連携事業	圏域への立地企業数（累計）	A	B	⬇	
8	物産振興事業	出品商品数	A	-		
9	圏域の水産物の食ブランド化推進事業	圏域の水産物の食ブランド化に係る事業の実施件数	A	A		
10	農業移住・新規就農サポート事業	農業次世代人材資金(経営開始型)の新規交付対象者数（累計）	C	C		
11	スマート農業普及対策事業	講習会等の開催回数	A	A		
12	農業研修事業	講習会等の参加者数	A	C	⬇	
13	漁業の担い手対策事業	担い手対策事業の実施件数	A	A		
14	広域連携農業振興事業	農地利用集積率	B	B		
15	東青流域林業活性化事業	普及啓発活動数及び研修会等開催回数	A	A		
16	むつ湾広域連携事業（産業・観光）	観光入込客数（延べ人数）	-	-		
17	陸奥湾沿線誘客宣伝事業	観光入込客数（延べ人数）	-	-		
18	大学連携推進事業	公開講座等開催回数/年間	A	A		
19	地域医療支援病院の登録医療機関支援事業	登録医療機関数	B	B		
20	在宅医療・介護連携推進事業	研修参加者数	C	A	↑	
21	在宅医療推進のための共同セミナー開催事業	セミナー参加者数	A	A		
22	認知症高齢者対策事業	サポーター養成数	D	C	↑	
23	一時預かり事業	希望者が利用できた割合	A	A		
24	病児一時保育事業	希望者が利用できた割合	A	A		
25	東青母子保健広域ネットワーク事業	会議開催回数	A	A		
26	食生活改善推進員養成事業	入会者数	C	A	↑	
27	高齢者等見守り体制確保事業	登録者数	B	A	↑	
28	点訳・手話奉仕員養成事業	養成者数（点訳奉仕員）	A	B	⬇	
		養成者数（手話奉仕員）	B	A	↑	
29	手話通訳者養成研修事業	養成者数	B	A	↑	
30	教科書採択事業	協議会開催回数	A	A		
31	小学校演劇鑑賞教室事業	圏域内小学校の利用割合	A	A		
32	小・中学生安全安心対策事業	養成講座参加者数	B	B		
33	心豊かな子ども読書活動推進事業	読書感想文及び読書新聞の応募数	C	C		
34	東青地区公民館連絡協議会事業	研修等参加者数	D	B	↑	
35	図書館相互利用事業	年間貸出数	B	C	⬇	

No.	事業名	目標とする指標	R5評価	R6評価	上昇 下降	備考
36	青森圏域市町村連携第80回国民スポーツ大会PR事業	大会PR活動数	A	-		
37	東青地区中学校体育大会夏季大会開催事業	県・東北・全国中学校体育大会で入賞した種目数		B		
38	東青地区中学校文化連盟活動事業	中学校文化連盟が開催する音楽愛及び演劇発表会での入場者数		B		
39	あおもりフィールドスタディ支援事業	本事業を活用して学生団体等が実施した事業数	C	B	↑	
40	青森圏域重点事業要望事務	要望事項実現率（進捗ありを含む）	A	A		
41	地域花いっぽいまちづくり事業	花苗等提供団体数及びフラワーロード参加団体数	B	B		
42	水道事業の広域連携事業	災害訓練の共同開催回数	A	A		
43	自主防災活動促進事業	会議等参加者数	A	A		
44	国土強靭化連携推進事業	事業の地域計画への掲載率	A	A		
45	むつ湾広域連携事業（環境）	環境保全活動の参加者数	A	A		
46	協働による環境教育・環境学習事業	むつ湾かるたを用いた環境学習実施箇所数	D	D		
47	森と湖に親しむ集い事業	ダム見学回数	A	A		
48	汚水等処理事業	生活排水処理率	B	B		
49	あおもり新しい働き方支援事業（Uターン就職支援）	Uターン就職等に関する相談件数	D	D		
50	新しい働き方担い手誘致・東青地域移住促進事業	圏域への移住者数	A	A		
51	消費生活相談事業	相談件数	B	B		
52	東青地域男女共同参画ネットワーク事業	会議等開催回数	C	A	↑	
53	成年後見制度法人後見支援事業	修了者数	C	-		
54	除排雪力向上連携ネットワーク形成事業	講習会の開催回数	A	A		
55	職員人事交流	人事交流人数（累計）	A	A		
56	職員研修	合同研修開催回数	A	A		
57	RPA活用推進事務	RPA活用推進担当者連絡会開催数	A	A		

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
1	連携中枢都市圏ビジョン懇談会の運営	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	企画部（連携推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(1) 産学官民一体となった圏域の経済成長等の推進体制の整備

内容							連携効果				目標達成状況																			
具体的な取組の推進のため、圏域の産学官民の有識者で構成する青森圏域連携中枢都市圏ビジョン懇談会（以下「ビジョン懇談会」という）を開催して、ビジョン懇談会において有識者から意見の聴取等を行う。							圏域の有識者の意見を踏まえた連携中枢都市圏ビジョンの推進				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																			
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																	
見込額	408	408	401	462	668	2,347	連携中枢都市圏 ビジョンに記載する 具体的な取組数	目標値	44	46	48	50	52																	
決算額	187	253	308	232	324	1,304		実績値	44	48	52	55	57																	
青森市	ビジョン懇談会を開催、各種連携事業の推進						進捗状況グラフ																							
役割分担 連携町村	懇談会の委員推薦、懇談会への参画						 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>44</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>46</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>48</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>52</td> <td>52</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	R2	44	44	R3	46	46	R4	48	48	R5	50	50	R6	52	52
年度	実績値	目標値																												
R2	44	44																												
R3	46	46																												
R4	48	48																												
R5	50	50																												
R6	52	52																												

成果		課題・問題点
令和元年12月に、青森市と東津軽郡4町村で連携中枢都市圏の連携協約を締結、令和2年3月に青森圏域連携中枢都市圏ビジョンを策定し、将来にわたって、持続可能で発展する圏域を目指し、圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上に係る取組を進めてきた。策定当初44事業であった連携事業は令和6年度時点では57事業と増加しているところであり、多分野にわたって圏域の結びつきがより強まっている。		連携中枢都市圏の地方財政措置について、その活用率は令和6年度において、青森市については5割程度、連携町村の活用率は3割を下回っているところ。限りある財源を有効に活用しながら、圏域全体の発展につながるような効果的な事業の展開・開拓を進めていく。

NO.2「起業・創業等支援拠点運営事業」及び

NO.3「中小事業者ビジネスサポート事業」は

NO.4「地域企業ビジネス支援拠点運営事業」に令和3年度に統合済

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間				担当部局（担当課）
4	地域企業ビジネス支援拠点運営事業	令和 3 年度	～	令和 6 年度		経済部（しごと創造課）
		役割				連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引				(2) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

圈域の経済活性化等を図るために、ビジネス相談窓口である「AOMORI STARTUP CENTER」を令和3年10月にリニューアルし、経営に関する豊富な知見を有する専任のコーディネーターによるワンストップできめ細かな支援やweb面談ツールを導入するなど、より相談しやすい体制とした結果、令和5年度の創業件数は目標値の30件を上回る80件となるとともに、年間相談件数も同年度の目標値1,000件を上回る1,240件となり、起業・創業及び地域企業の成長等による圈域全体の雇用の創出に寄与するものとなった。

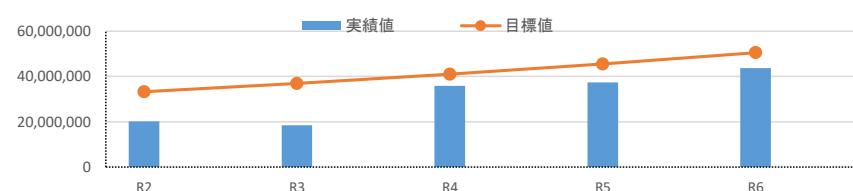
基準値	年度	R2	R3	R4	R5	R6
相談窓口での年間相談件数	目標値		800	900	1,000	1,100
	実績値		1,729	2,599	1,240	1,478

進捗状況グラフ

期間	実績値	目標値
R2	0	0
R3	1,729	900
R4	2,599	1,000
R5	1,240	1,000
R6	1,478	1,100

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
5	首都圏ビジネス交流拠点運営事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	経済部（東京事務所）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(2) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

内容							連携効果				目標達成状況																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	60,544	53,409	53,335	53,715	53,706	274,709	売上額	目標値	33,266,000	36,925,000	40,987,000	45,496,000	50,500,000																			
決算額	55,559	50,152	50,009	47,454	49,634	252,808		実績値	20,166,547	18,480,385	35,842,126	37,355,839	43,698,045																			
青森市	イベント等の企画、事務手続き、関係機関等との調整							進捗状況グラフ																								
役割分担 連携町村	イベント等への出展、広報活動、費用負担等							 <table border="1"> <caption>売上額（実績値 vs 目標値）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (千円)</th> <th>目標値 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>20,166,547</td> <td>33,266,000</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>18,480,385</td> <td>36,925,000</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>35,842,126</td> <td>40,987,000</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>37,355,839</td> <td>45,496,000</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>43,698,045</td> <td>50,500,000</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値 (千円)	目標値 (千円)	R2	20,166,547	33,266,000	R3	18,480,385	36,925,000	R4	35,842,126	40,987,000	R5	37,355,839	45,496,000	R6	43,698,045	50,500,000
年度	実績値 (千円)	目標値 (千円)																														
R2	20,166,547	33,266,000																														
R3	18,480,385	36,925,000																														
R4	35,842,126	40,987,000																														
R5	37,355,839	45,496,000																														
R6	43,698,045	50,500,000																														

成果		課題・問題点
圏域4町村の事業者の販路拡大等のため、AoMoLink赤坂をはじめとした各種イベントへの出店を通じて、首都圏における圏域4町村の積極的なプロモーション活動を実施してきた結果、指標である売上額の実績は、令和2年度20,167千円、令和3年度18,480千円、令和4年度35,842千円、令和5年度37,356千円、令和6年度43,698千円と、すべての年度で目標値には届かなかったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響が明けた令和4年度から売上額は増加傾向にあり、令和6年度の売上額は過去最高実績となり、圏域の経済活性化に一定程度寄与するものとなつた。		圏域全体の経済活性化を図るためにには、圏域4町村と連携し、首都圏をはじめとする域外からの所得獲得の促進が必要となる。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
6	あおもり新しい働き方支援事業（企業誘致活動）	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	経済部（新産業支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(2) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

内容							連携効果				目標達成状況																					
○圏域への新規企業誘致やサテライトオフィスの設置のため、首都圏や中部圏等の企業へ圏域の立地環境をPRするとともに、来場者の多い展示会等や青森県が主催する「あおもり産業立地フェア」に参画する。							圏域への新規企業立地に向けた効果的・効率的な誘致活動				B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）																					
○既立地企業の圏域への定着や規模拡大を促進するため、定期的に既立地企業を訪問し、企業動向の把握や企業ニーズを把握する。																																
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	1,235	1,187	1,185	1,133	1,084	5,824	圏域への立地企業数（累計）	目標値	3	6	9	12	16																			
決算額	238	189	436	498	473	1,834		実績値	3	6	10	13	15																			
青森市	東京ビジネスセンターの活用を含む事業実施、各種事務手続き、調整事務等						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	パンフレット等による企業立地環境の情報提供、地元関係機関と調整、費用負担等						<table border="1"> <caption>実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	3	5	R3	6	7	R4	9	10	R5	12	14	R6	15	17
年度	実績値	目標値																														
R2	3	5																														
R3	6	7																														
R4	9	10																														
R5	12	14																														
R6	15	17																														

成果	課題・問題点
これまで、地方へ設備投資等を検討している企業に対し、企業訪問や展示会への参加など企業誘致活動に取り組んできた結果、指標である圏域への立地企業数（累計）は、令和6年度15件と目標値を概ね達成しており、圏域での雇用創出に寄与するものとなった。	圏域での雇用を創出するためには、生活圏や経済圏が密接に結びつく圏域4町村と連携し、引き続き企業誘致活動をしていく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

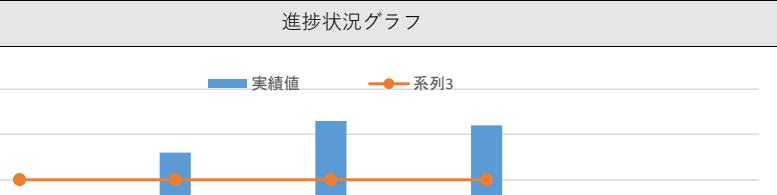
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
7	企業誘致関係機関連携事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	経済部（経済政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(2) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

内容							連携効果				目標達成状況																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	551	551	551	550	550	2,753	圏域への立地企業数（累計）	目標値	3	6	9	12	16																		
決算額	550	550	550	550	550	2,750		実績値	3	6	10	13	15																		
青森市	事業実施、各種事務手続き、調整事務等							進捗状況グラフ																							
役割分担	連携町村	パンフレット等による企業立地環境の情報提供、地元関係機関と調整、費用負担等							<table border="1"> <caption>実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値	目標値	R2	3	5	R3	6	7	R4	9	10	R5	12	14	R6	15	17
年度	実績値	目標値																													
R2	3	5																													
R3	6	7																													
R4	9	10																													
R5	12	14																													
R6	15	17																													

成果		課題・問題点
これまで、地方へ設備投資等を検討している企業に対し、企業訪問や展示会への参加など企業誘致活動に取り組んできた結果、指標である圏域への立地企業数（累計）は、令和6年度15件と目標値を概ね達成しており、圏域での雇用創出に寄与するものとなった。		圏域での雇用を創出するためには、生活圏や経済圏が密接に結びつく圏域4町村と連携し、引き続き企業誘致活動をしていく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
8	物産振興事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	経済部（経済政策課）
		役割	
		圏域全体の経済成長のけん引	
		(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	

内容							連携効果				目標達成状況			
地域特産品のPR及び販売促進を図るため、むつ湾フォーラムの開催に合わせ、東青地域と県内他自治体が連携した物産展等を開催する。							地域特産品のPR及び販売促進				ー：検討段階の事業			
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	
見込額	321	1,048	1,048	1,052	0	3,469	出品商品数	目標値	20	20	20	20	20	
決算額	50	412	659	1,003	0	2,124		実績値	0	32	46	44	-	
役割分担	青森市	物産展の開催に関する連絡及び調整					進捗状況グラフ							
	連携町村	物産展の開催に関する連絡及び調整												R6

成果	課題・問題点
<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業が中止となつたが、令和3年度からは特産品の販売促進等を図るため、むつ湾フォーラム開催に合わせた物産展等を開催してきた結果、指標である出品商品数の実績は、令和3年度32品、令和4年度46品、令和5年度44品と実施したすべての年度で目標値を上回つており、圏域特産品のPR等に寄与しています。</p>	<p>物産展等の実施を通じて圏域特産品の認知度や魅力度の向上が進み、産業の振興を図るという目的が一定程度達成されたことに加え、類似の取組は連携市町村でも実施されていることから、令和5年度をもつて当該事業を終了し、令和6年度には、連携中枢都市及び周辺市町村で構成するむつ湾広域連携協議会における特産品の販路拡大及び販売促進に関する事業を検討・実施する産業部会を廃止したもの。</p>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

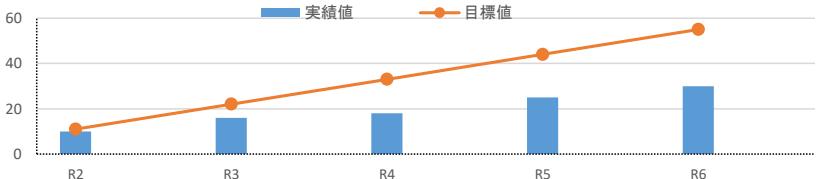
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
9	圏域の水産物の食ブランド化推進事業	令和3年度～令和6年度	農林水産部（水産振興センター）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容							連携効果			目標達成状況			
各市町村の水産物の高付加価値化・販路拡大を図るため、圏域内市町村が連携して水産物のブランド化に係るイベント等を実施する。							各市町村の水産物の高付加価値化及び商品の販路拡大			A：順調（年度の目標値を100%以上達成）			
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	0	629	517	634	634	2,414	圏域の水産物の食ブランド化に係る取組件数	目標値	0	1	1	1	1
決算額	0	0	419	240	465	1,124		実績値	0	0	1	1	1
青森市	事業実施、他町村との調整						進捗状況グラフ						
役割分担	連携町村	事業実施、他市町村との調整											

成果				課題・問題点			
<p>○令和3年度「2021東北復興大祭典 なかの」（東京都中野区主催）に出店予定だったが、新型コロナの影響に伴う規模縮小によりPRブースが中止となったため、不参加となった。</p> <p>○令和4年度「2022なかの東北応援まつり」（東京都中野区主催）に出店し、圏域市町村の地元水産物等のPRを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日:10/28(土)・29(日)</li> <li>・PR方法:圏域特産品チラシ・観光パンフを配布するとともに、その場で実施した圏域○×クイズの参加者（848人）に地元水産物等の試供品を配布しPRを行った。</li> </ul> <p>○令和5年度「2023なかの東北絆まつり」（東京都中野区主催）に出店し、圏域市町村の地元水産物等のPRを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日:10/28(土)・29(日)</li> <li>・PR方法:圏域特産品チラシ・観光パンフを配布するとともに、その場で実施した圏域○×クイズの参加者（860人）に地元水産物等の試供品を配布しPRを行った。</li> </ul> <p>○令和6年度「2024なかの東北絆まつり」（東京都中野区主催）に出店し、圏域市町村の地元水産物等のPRを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日:10/26(土)・27(日)</li> <li>・PR方法:圏域特産品チラシ・観光パンフを配布するとともに、その場で実施した圏域○×クイズの参加者（470人）に地元水産物等の試供品を配布しPRを行った。</li> </ul>				圏域市町村と連携を図り、首都圏の消費者に対し地元水産物のPRを行うことは、新たな購買層の発掘につながることから、引き続き当該事業を実施していく必要があるが、連携市町村における既存の取組内容に差異があり、全ての市町村が参加する体制となっていない。			

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

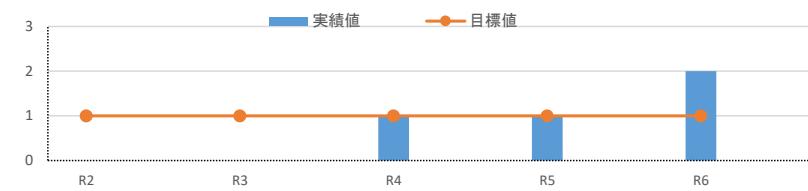
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
10	農業移住・新規就農サポート事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	農業政策課
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容							連携効果				目標達成状況																					
○今後の地域の担い手となり得る新規就農者の確保・育成と定着を図るため、首都圏での移住就農相談会の開催や大学への訪問の実施など農業移住・新規就農の促進に向けた情報発信を行う。							○新規就農者を支援するため、圏域内外からの相談者に対する各種支援の窓口である「あおもり就農サポートセンター」を運営する。				○農業次世代人材投資資金（経営開始型）の新規交付対象者数（累計）																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	10,007	11,094	11,362	10,112	9,516	52,091	目標値	11	22	33	44	55																				
決算額	8,388	8,476	9,093	8,639	8,337	42,933	実績値	10	16	18	25	30																				
青森市	事業の企画及び委託、事務手続き、関係機関等との調整						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	事業の広報活動（利用促進）、費用負担等						 <table border="1"> <caption>実績値と目標値の比較</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>15</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>18</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>25</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>30</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	10	12	R3	15	22	R4	18	30	R5	25	42	R6	30	55
年度	実績値	目標値																														
R2	10	12																														
R3	15	22																														
R4	18	30																														
R5	25	42																														
R6	30	55																														

成果		課題・問題点
<p>新規就農者の確保・育成を図るため、「あおもり就農サポートセンター」を運営し、新規就農を希望する方の相談対応や新規就農者は場の巡回による栽培指導・経営指導を実施した。</p> <p>令和6年度の目標として、農業次世代人材投資資金の新規交付対象者（累計）を55人（毎年11人）と設定したが、令和2年度から令和6年度までの累計で30人（平均6人）となり、令和6年度目標に対し25人の減、達成率にして55%となった。</p>		目標は達成していないものの、「あおもり就農サポートセンター」への相談件数が年々増えていることから、圏域内の新規就農者確保・定着に向けて取組を強化していく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

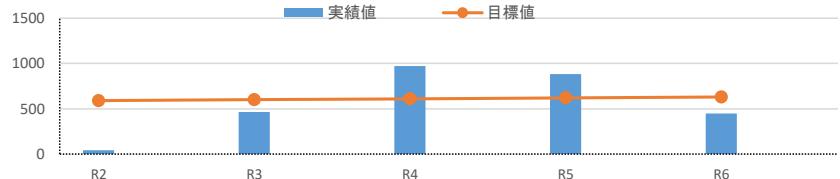
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
11	スマート農業普及対策事業	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	農業政策課
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容							連携効果				目標達成状況																						
○農作業の省力・軽労化及び生産性向上のため、ロボット技術やＩＣＴ等の新技術の導入により、農業の新たなステージを切り拓くスマート農業の普及に係る講習会等を実施する。							新技術の導入による農作業の省力・軽労化及び生産性の向上				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																						
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																				
見込額	168	189	334	146	150	987	講習会等の開催回数	目標値	1	1	1	1	1																				
決算額	0	0	0	0	0	0		実績値	0	0	1	1	2																				
青森市	事業の企画、事業実施、事務手続き、関係機関との調整						進捗状況グラフ																										
役割分担 連携町村	各町村における農業者の意向の把握、講習会等イベントにおける会場や新技術導入済農家の事例発表等の調整、広報活動、費用負担等						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>									年度	実績値	目標値	R2	0	1	R3	0	1	R4	1	1	R5	1	1	R6	2	1
年度	実績値	目標値																															
R2	0	1																															
R3	0	1																															
R4	1	1																															
R5	1	1																															
R6	2	1																															

成果	課題・問題点
<p>令和2、3年度はコロナ禍により本事業に位置付けられた講習会等は開催に至らなかったものの、令和4年度及び令和5年度は、年度内1回、普及に向けた取組みとして成果報告会を開催し、令和4年度52名、令和5年度50名の延べ102名が参加した。</p> <p>令和6年度は、成果報告会に加え、「農業フェア」においてスマート農業機器等の展示・体験等を行い、合わせて355名が参加し、スマート農業の普及促進を図った。</p>	<p>スマート農業機器の技術進歩と多様化が進んでいるため、引き続き講習会等の開催により普及啓発を図る必要がある。</p> <p>今後はスマート農業を含めた農業DXの導入促進を進め、圏域において、時代の変化に的確に対応できる農業経営基盤強化を図っていく必要がある。</p>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
12	農業研修事業	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	農林水産部（農業振興センター）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容							連携効果				目標達成状況																					
新規就農者を確保するため、青森市農業振興センターにおいて、広く研修生を受け入れ、農業実習や講義による研修を行う。 農業生産工程管理（G A P）の指導員資格を取得した青森市職員が圏域の農業者に講習会等で情報提供を行うとともに、農業振興センターを実践農場としてG A Pに取り組み、G A P取得を目指すかたを巡回指導する。							農業者の経営安定化及び圏域の新規就農者確保				C：やや遅れている（年度の目標値の50～75%未満）																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	400	426	120	297	289	1,532	講習会等の参加者数	目標値	590	600	610	620	630																			
決算額	0	108	119	30	65	322		実績値	41	463	972	883	447																			
青森市	事業の企画、事業実施、事務手続き、関係機関との調整						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	広報活動及び費用負担						 <table border="1"> <caption>実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>10</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>40</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>950</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>850</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>400</td> <td>550</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	10	550	R3	40	550	R4	950	550	R5	850	550	R6	400	550
年度	実績値	目標値																														
R2	10	550																														
R3	40	550																														
R4	950	550																														
R5	850	550																														
R6	400	550																														

成果		課題・問題点
新型コロナウイルスの影響により、令和2年度には多くの講習会を中止したため参加者数が激減したが、令和4年度、令和5年度と、講習会の開催回数を増加し、目標値を上回る多くの参加者への講習が実施できた。なお、令和6年度は応募者数が目標値より少なかったため、参加者数は目標値を下回った。		連携町村からの講習会参加者数が年度によりバラツキがある（R2:1、R3:85、R4:91、R5:15、R6:24）が、園芸講習会や野菜づくり基礎講座などの本市での講習会の開催情報について今後も継続して東青管内に広く周知し、より多くのかたが講習会に参加できるよう取組む必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

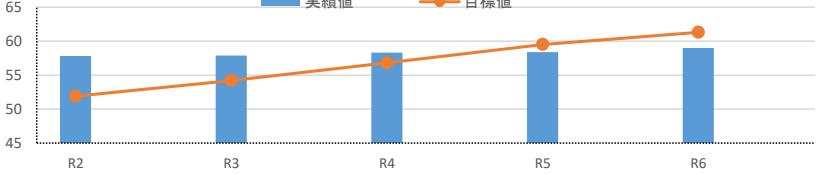
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
13	漁業の担い手対策事業	令和 3 年度 ~ 令和 6 年度	農林水産部（水産振興センター）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容							連携効果				目標達成状況			
○漁業の担い手対策のため、若手を中心とした漁業従事者の研修活動等を支援する。 ○将来の担い手を発掘するため、小学生等へのホタテガイ作業体験やワカメ養殖体験等の漁業体験学習を通じて、漁業への関心を高める。							○圏域の漁業就業者に必要な技能取得及び資格取得の促進 ○漁業体験学習を通じた将来の担い手の発掘				A : 順調（年度の目標値を100%以上達成）			
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	
見込額	0	241	142	100	128	611	担い手対策事業の実施件数	目標値	0	1	1	1	1	
決算額	0	0	0	64	86	150		実績値	0	0	1	1	1	
役割分担	青森市	事業主体である青森市漁業研究リーダー会と連携（県漁協青年部協議会の場を活用）して担い手対策事業を実施											進捗状況グラフ	
	連携町村	費用負担												

成果	課題・問題点
○令和3年度水産教室(開催場所：水産総合研究所 8/30・9/8実施予定)は、新型コロナの影響に伴い、開催を中止とした。	
○令和4年度水産教室(開催場所：水産総合研究所)を実施。水産総合研究所所員を講師として、圏域町村児童計49人を対象に、地元の海や漁業への関心を高めることを目的とした水産教室を行った。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/7 今別町立今別小5年生9人・外ヶ浜町立蟹田小5年生22人</li> <li>・ 9/20 蓬田村立蓬田小5年生18人 ※9/7・9/11計49人</li> </ul>	
※9/20実施予定の青森市立北小学校は、学校の都合により不参加。	
○令和5年度水産教室(開催場所：浅虫水族館)を実施。浅虫水族館職員を講師として、圏域町村児童計71人を対象に、地元の海や漁業への関心を高めることを目的とした水産教室を行った。	小学生等の子供達に対し、地元の海や漁業への関心を高めるための取組を行うことは、圏域における5年後～10年後の漁業の担い手発掘につながることから、引き続き当該事業を実施していく必要があるが、連携市町村における既存の取組内容に差異があり、全ての市町村が参加する体制となっていない。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/7 外ヶ浜町立蟹田小5年生25人</li> <li>・ 9/11 今別町立今別小5年生15人・蓬田村立蓬田小5年生17人・青森市立北小5年生14人 ※計71人参加</li> </ul>	
○令和6年度水産教室(開催場所：浅虫水族館)を実施。浅虫水族館職員を講師として、圏域町村児童計67人を対象に、地元の海や漁業への関心を高めることを目的とした水産教室を行った。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/10 青森市立北小5年生24人・外ヶ浜町立蟹田小5年生及び外ヶ浜町立三厩小5年生19人</li> <li>・ 10/9 今別町立今別小5年生3人・蓬田村立蓬田小5年生21人 ※計67人参加</li> </ul>	

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

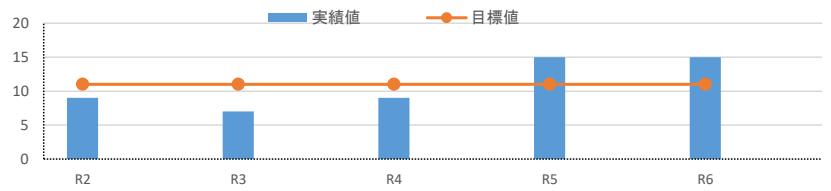
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
14	広域連携農業振興事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	農業委員会事務局
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容							連携効果				目標達成状況																					
農業者の地位向上及び地域農業の振興に向け、他市町村農業委員会及び一般社団法人青森県農業会議と連携した取組を行う。							・圏域農業者の地位向上 ・農業振興のための効果的な事業展開				B : 概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	1,997	1,965	1,776	1,647	1,647	9,032	農地利用集積率	目標値	51.9	54.2	56.8	59.5	61.3																			
決算額	1,769	1,965	1,776	1,494	1,647	8,651		実績値	57.8	57.9	58.3	58.4	59.0																			
青森市	事業の運営、諸事務手続き、関係機関等との調整						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	農政施策推進に向けた協力、費用負担等						 <table border="1"> <caption>農地利用集積率実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>57.8</td> <td>51.9</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>57.9</td> <td>54.2</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>58.3</td> <td>56.8</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>58.4</td> <td>59.5</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>59.0</td> <td>61.3</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	57.8	51.9	R3	57.9	54.2	R4	58.3	56.8	R5	58.4	59.5	R6	59.0	61.3
年度	実績値	目標値																														
R2	57.8	51.9																														
R3	57.9	54.2																														
R4	58.3	56.8																														
R5	58.4	59.5																														
R6	59.0	61.3																														

成果		課題・問題点
<p>青森市、平内町、外ヶ浜町、今別町、蓬田村の農業委員会で構成する「東青地区農業委員会連絡協議会」は、県全体の農業委員会の取りまとめ役である「一般社団法人青森県農業会議」と連携し、毎年、県、国及び県選出国会議員への要望・要請活動を行い、農業者の地位向上と地域農業の振興に努めてきた。</p> <p>農地利用集積率も年々向上しており、圏域の結びつきがより強まっているところである。</p>		農用地利用集積率の実績値は、令和 2 年度から令和 4 年度までは目標値を上回っていたが、令和 5 年度は下回ったことから、今後、さらなる向上に努める必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

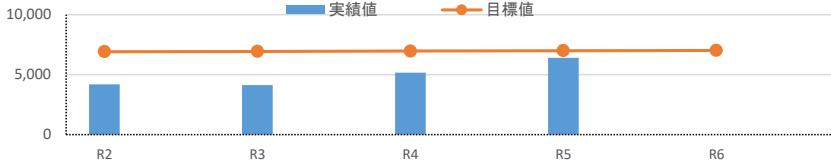
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
15	東青流域林業活性化事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	農林水産部（農地林務課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

内容							連携効果				目標達成状況																					
林業振興のため、県産材利用普及啓発活動、山火事防止運動、森林施業の集約化に向けた取組を行う。							林業及び流通業の活性化による産業振興				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	299	299	299	299	299	1,495	普及啓発活動及び研修会等開催回数	目標値	11	11	11	11	11																			
決算額	299	299	299	299	299	1,495		実績値	9	7	9	15	15																			
青森市	各種活動・研修会に対する連携、費用負担						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	各種活動・研修会に対する連携、費用負担						 <table border="1"> <caption>各種活動・研修会に対する連携、費用負担</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>7</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>15</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>15</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	9	11	R3	7	11	R4	9	11	R5	15	11	R6	15	11
年度	実績値	目標値																														
R2	9	11																														
R3	7	11																														
R4	9	11																														
R5	15	11																														
R6	15	11																														

成果	課題・問題点
事業実施主体である青森県が中心となって、木工教室や林業体験活動など気軽に参加できる普及啓発活動及び研修会等を5年間で延べ55件（令和2年度：9件、令和3年度：7件、令和4年度：9件、令和5年度：15件、令和6年度：15件）開催したことにより、圏域住民に林業に親しむ機会を提供することができた。	今後も少子高齢化と人口減少の加速が見込まれる中で、新規就業者を主体とした林業労働力の確保・育成に向けた取組を進めるとともに、スマート林業の普及・定着による作業の効率化・安全性の向上を図ることで、持続可能な林業を推進していく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
16	むつ湾広域連携事業（負担金）（連携）※観光部会部分	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	企画部（連携推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(4) 戦略的な観光施策の展開

内容							連携効果				目標達成状況																					
○産業及び観光振興のため、陸奥湾の自然や資源を活かした観光コンテンツの造成等を図る。 ○圏域特産品の販路拡大に向けた共同プロモーションを検討する。							圏域の観光振興及び圏域産品の販路拡大				—：検討段階の事業																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	37,648	5,109	2,743	2,758	0	48,258	観光入込客数 (延べ人数) (単位：千人)	目標値	6,911	6,938	6,965	6,992	7,019																			
決算額	12,656	1,916	1,820	1,457	0	17,849		実績値	4,187	4,122	5,170	6,407	集計中																			
青森市	事業の企画、実施、事務手続き、関係機関との調整						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	事業企画、実施、広報活動、費用負担						 <table border="1"> <caption>観光入込客数（延べ人数）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (千人)</th> <th>目標値 (千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>4,187</td> <td>6,911</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4,122</td> <td>6,938</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>5,170</td> <td>6,965</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>6,407</td> <td>6,992</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>集計中</td> <td>7,019</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値 (千人)	目標値 (千人)	R2	4,187	6,911	R3	4,122	6,938	R4	5,170	6,965	R5	6,407	6,992	R6	集計中	7,019
年度	実績値 (千人)	目標値 (千人)																														
R2	4,187	6,911																														
R3	4,122	6,938																														
R4	5,170	6,965																														
R5	6,407	6,992																														
R6	集計中	7,019																														

成果		課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・むつ湾広域連携協議会の観光振興の取組として、令和4年度及び令和5年度において、以下の2事業を実施。</li> <li>・陸奥湾を囲む半島をコースでつなぎ、それぞれのコースの観光資源（景観、温泉、自然、食）を楽しみながら沿岸市町村をリレーするウォーキングイベントむつONEリレーウォークを開催。</li> <li>・むつ湾一周サイクリングコース（約270km）を自転車で巡るむつ湾サイクリングを開催。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクリロゲイニング・リレーウォークともにコースが確立され、各自で周遊観光が可能になり、類似の取組が各市町村や民間でも実施されており、当初の目的は一定程度達成したことから、令和5年度をもって事業を終了し、令和6年度には、観光部会を廃止したもの。</li> </ul>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
17	陸奥湾沿線誘客宣伝事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	経済部（交流推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(4) 戦略的な観光施策の展開

内容							連携効果				目標達成状況																				
陸奥湾沿岸の観光産業の活性化のため、鉄路を活用した誘客宣伝活動を実施する。							圏域の認知度向上及び観光入込客数の増加				—：検討段階の事業																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	320	320	320	320	320	1,600	観光入込客数 (延べ人数) (単位：千人)	目標値	6,911	6,938	6,965	6,992	7,019																		
決算額	320	0	320	320	320	1,280		実績値	4,187	4,122	5,170	6,407	集計中																		
役割分担	青森市	イベントやキャンペーンでのPR					進捗状況グラフ																								
	連携町村	イベントやキャンペーンでのPR					 <table border="1"> <caption>観光入込客数（延べ人数）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (千人)</th> <th>目標値 (千人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>4,187</td> <td>6,911</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4,122</td> <td>6,938</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>5,170</td> <td>6,965</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>6,407</td> <td>6,992</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>集計中</td> <td>7,019</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値 (千人)	目標値 (千人)	R2	4,187	6,911	R3	4,122	6,938	R4	5,170	6,965	R5	6,407	6,992	R6	集計中	7,019
年度	実績値 (千人)	目標値 (千人)																													
R2	4,187	6,911																													
R3	4,122	6,938																													
R4	5,170	6,965																													
R5	6,407	6,992																													
R6	集計中	7,019																													

成果		課題・問題点
陸奥湾沿線の誘客促進を図るため、旅のきっかけを提供するサイト「*and trip.」での特集記事の制作や、首都圏におけるイベントでのブース出展等プロモーション活動を実施した結果、指標である圏域5市町村の観光入込客数は令和2年4,187千人、令和3年4,122千人、令和4年5,170千人、令和5年6,407千人と各年で目標値を下回っているものの、新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の低下から回復傾向となっており、圏域の誘客促進に一定程度寄与するものとなった。		陸奥湾沿岸の観光産業の活性化を図るためには、関係自治体や関係団体等と連携し、圏域全体での誘客プロモーションの強化が必要となる。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

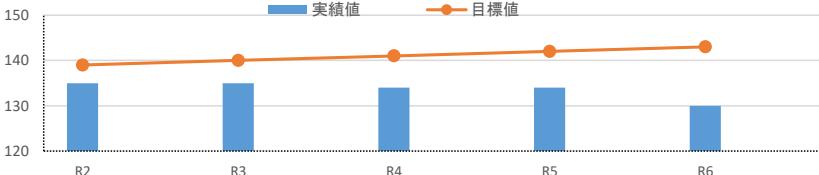
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
18	大学連携推進事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	企画部（連携推進課）
		役割	連携施策
		高次の都市機能の集積・強化	(1) 高等教育・研究開発の環境整備

内容							連携効果			目標達成状況																				
○圏域の地域づくりを推進するため、大学が有する豊富な知識、技術、人材、機能などを活用し、圏域各地で公開講座を開催する。 ○学生等の起業マインドやビジネスマインドの醸成を図るため、市内の大学生チーム等によるビジネスアイデアコンテスト「Aomori Business Challenge GATE」を開催し、圏域を対象としたビジネスアイデアの募集を行う。							圏域住民の高等教育機会の充実や大学の参画による地域活性化			A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																	
見込額	553	685	825	951	855	3,869	公開講座等開催回数/年間	目標値	2	3	4	5	6																	
決算額	0	581	643	639	621	2,484		実績値	0	4	6	7	6																	
青森市	市内6大学・短期大学の公開講座等の圏域への情報提供、圏域各地での公開講座開催支援のため主体的な事業実施、各種事務手続、圏域町村及び関係機関等との調整						進捗状況グラフ																							
役割分担 連携町村	制度の広報活動（利用促進、参加呼びかけ等）、費用負担等						<table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	R2	0	2	R3	4	3	R4	6	4	R5	7	5	R6	6	6
年度	実績値	目標値																												
R2	0	2																												
R3	4	3																												
R4	6	4																												
R5	7	5																												
R6	6	6																												

成果	課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>公開講座の開催は、圏域住民にも学習の機会を提供することにより、教養の向上、大学と社会の連携強化、社会問題等の解決に向けた意識の醸成に資する取組となっている。</li> <li>市内大学等の学生によるビジネスアイデアコンテストについては、学生等が地域の課題解決等を対象としたビジネスアイデアを考え、発表する機会を通じて、起業マインドやチャレンジマインドの醸成が図られている。</li> <li>目標値は令和2年度を除いた全ての年度で達成しており、事業の目的を概ね達成できたものと考えている。</li> </ul> <p>参考：令和6年度実績 6回（ビジネスアイデアコンテスト、合同学修発表会、公開講座4回）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化や都市部への人口流出により、学生数の減少が課題となっており、青森市内の大学では存続が困難となった大学もある。市内大学、青森市、青森商工会議所が形成する青森市産官学プラットフォームの活動を通じ、学生が実践的なプロジェクトに参加できる機会を創出するなど、学生に選ばれる地域を構築していく必要がある。</li> <li>人口減少や高齢化、災害への対応など、一つの行政区域だけでは解決が難しい広域的な課題が増加しており、複数の地方自治体や企業、大学などの多様な主体とともに面的に課題解決を図っていく仕組みづくりが必要と考える。</li> </ul>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

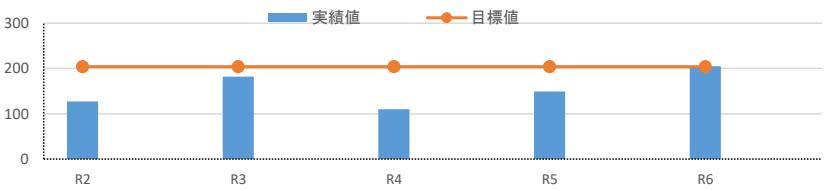
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
19	地域医療支援病院の登録医療機関	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	市民病院事務局（総務課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
地域医療体制の充実を図り、質の高い医療を提供するため、地域の医療従事者に対する研修及び医療機器の共同利用などを実施する。							医療提供体制の維持・向上				B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	1,398	1,257	1,131	1,081	1,132	5,999	登録医療機関数	目標値	139	140	141	142	143																		
決算額	165	770	770	545	793	3,043		実績値	135	135	134	134	130																		
青森市	事業の実施						進捗状況グラフ																								
役割分担	連携町村	制度の広報活動						 <table border="1"> <caption>登録医療機関数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>135</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>135</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>134</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>134</td> <td>142</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>130</td> <td>143</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	R2	135	139	R3	135	140	R4	134	141	R5	134	142	R6	130	143
年度	実績値	目標値																													
R2	135	139																													
R3	135	140																													
R4	134	141																													
R5	134	142																													
R6	130	143																													

成果		課題・問題点
<p>地域の医療機関に対する訪問活動、市民病院について詳しく紹介する冊子「地域医療連携のご案内」の作成・送付を通して医療機関登録の声掛けを行うとともに、登録医療機関に対しては当院の診療科紹介チラシを送付し、医療提供体制の維持・向上に努めている。</p> <p>令和6年度の実績としては、新規登録2機関、閉院が6機関であった。</p> <p>今後も未登録の医療機関に対する働き掛けを継続し、登録機関数の維持・増加に努めてまいる。</p>		<p>東青地区における医療機関数が減少傾向であり、それに伴い登録医療機関も減少していることから、現在連携できていない医療機関や新規開院した医療機関に継続した働きかけを行い登録医療機関数の維持・増加をしていく必要がある。</p> <p>(参考) 東青地区の医療機関数の推移（出典：青森県保健統計年報 各年10月1日現在）  R1年：399機関、R2年：388機関、R3年：383機関、R4年380機関、R5年375機関</p>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

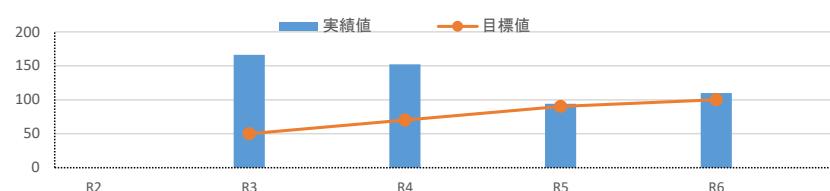
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
20	在宅医療・介護連携推進事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部（高齢者支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																					
在宅医療及び介護を一体的に提供できる圏域内の体制を構築するため、「在宅医療・介護連携推進会議」を開催するとともに、在宅医療や介護の関係者による研修を実施する。							圏域の住民に対する在宅医療・介護の一体的な提供				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	215	290	289	289	360	1,443	研修参加者	目標値	204	204	204	204	204																			
決算額	30	110	74	170	249	633		実績値	127	182	110	149	205																			
青森市	多職種協働の研修会の企画及び運営等						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	周知活動						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>127</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>182</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>110</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>149</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>205</td> <td>204</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	127	204	R3	182	204	R4	110	204	R5	149	204	R6	205	204
年度	実績値	目標値																														
R2	127	204																														
R3	182	204																														
R4	110	204																														
R5	149	204																														
R6	205	204																														

成果		課題・問題点
医療・介護等の多職種連携を図るための研修会について、関係機関への周知を行い、会場参加及びオンライン配信による開催とした結果、参加者は目標値の204人に対し205人となり、在宅医療及び介護を一体的に提供できる圏域内の体制構築に寄与するものとなった。		在宅医療と介護の連携を促進するため、より充実した内容の研修を実施し、圏域4町村とも情報交換しながら、在宅医療及び介護を一体的に提供できる圏域内の体制づくりを進めていく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

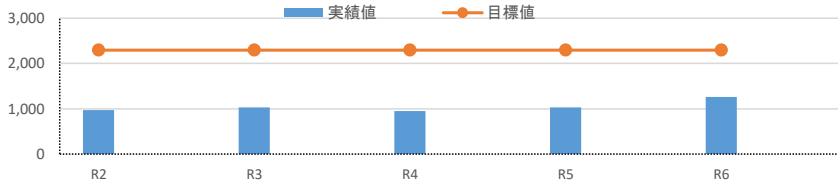
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
21	在宅医療推進のための共同セミナー開催事業	令和 3 年度 ~ 令和 6 年度	市民病院（浪岡病院事務局）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																			
それぞれの地域で質の高い在宅医療を患者や家族に提供するため、圏域の公立病院等で連携し、在宅医療に関する基調講演会などを開催する。							在宅医療の課題や情報共有、助言及び支援などの連携体制の構築				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																			
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																	
見込額		400	400	400	400	1,600	セミナー参加者数	目標値		50	70	90	100																	
決算額		400	379	396	276	1,451		実績値		166	152	94	110																	
役割分担 連携町村	青森市	セミナー等の企画及び運営等					進捗状況グラフ																							
		事業への参加、協力、周知活動  平内町からのコメント  ・当院からも当該セミナーに数名参加し、在宅医療に関連した「看取り患者への向き合い方」など、講師からの経験談や実務に伴う疑義への回答など、様々な学びを得ることができた。					 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>150</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>150</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>150</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>80</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	150	50	R3	150	50	R4	150	50	R5	80	80	R6	80
年度	実績値	目標値																												
R2	150	50																												
R3	150	50																												
R4	150	50																												
R5	80	80																												
R6	80	80																												

成果		課題・問題点
<p>在宅医療に取り組む病院間で、課題や情報の共有を図るとともに、課題解決に向けて助言し、支援するなど連携体制の構築を図り、それぞれの地域で質の高い在宅医療を患者や家族に提供することを目的に、令和6年度は11月21日（木）浪岡中央公民館において浪岡健康フェアと共にセミナーを開催し、現地参加及び後日配信した動画視聴も含めて110名の方に参加いただいた。</p> <p>当日は「医療・福祉・介護職のためのいのちの終わりの向き合い方」と題し、看取りコミュニケーション講師・正看護師の後閑愛実様から基調講演をいただくとともに、圏域の課題に関する質問に対してご助言いただいた。</p>		<p>「在宅医療推進のための共同セミナー開催事業」については、これまで主に在宅での看取りをテーマに実施してきたが、昨今、国においては、高齢化の進展に伴い高齢者の救急搬送件数が増加する中で、地域の在宅医療に関し、消防関係者も含めた連携体制の構築を図ることが重要として、平成29年度から全国の自治体等を対象とした在宅医療・救急医療連携セミナー等を開催しているところ。</p> <p>一方で、地域においては、在宅・施設から入院となった方の状態が安定し退院可能となつても、退院後の受け入れ態勢が整わず入院が長引くケースが増加する等、地域包括ケアシステムにおける医療・介護の連携強化等の課題も見受けられている。</p> <p>これらの状況を踏まえ、令和7年度は、在宅医療・介護と救急医療との連携等をテーマとしたセミナーの開催に向けた検討を進めることとする。</p>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

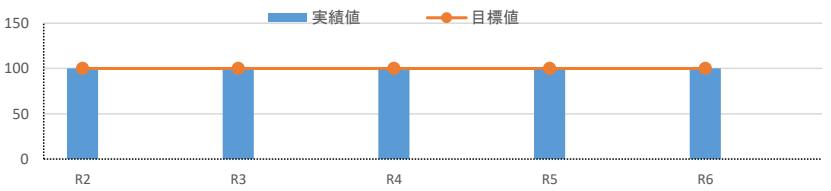
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
22	認知症高齢者対策事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部高齢者支援課
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせる体制を構築するため、「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症の知識等の普及啓発を行う。							圏域での認知症に対する理解の促進				C：やや遅れている（年度の目標値の50～75%未満）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	424	388	466	488	600	2,366	サポーター養成数	目標値	2,294	2,294	2,294	2,294	2,294																		
決算額	102	176	210	357	282	1,127		実績値	973	1,031	949	1,028	1,262																		
青森市	市主催の認知症サポーター養成講座及び認知症講座での町村住民の受講受入						進捗状況グラフ																								
役割分担 連携町村	広報活動、教材費の負担						 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>~973</td> <td>2,294</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>~1,031</td> <td>2,294</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>~949</td> <td>2,294</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>~1,028</td> <td>2,294</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>1,262</td> <td>2,294</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	~973	2,294	R3	~1,031	2,294	R4	~949	2,294	R5	~1,028	2,294	R6	1,262	2,294
年度	実績値	目標値																													
R2	~973	2,294																													
R3	~1,031	2,294																													
R4	~949	2,294																													
R5	~1,028	2,294																													
R6	1,262	2,294																													

成果	課題・問題点
令和6年度から市民大学カリキュラムに認知症サポーター養成講座を導入した結果、サポーター養成数は目標値の2,294人に対し、1,262人となり達成できなかったものの、前年度より234人増加しており、圏域での認知症に対する理解の促進に寄与するものとなった。	できる限り住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症に対する理解を促進するため、圏域4町村と連携し、地域で認知症の人やその家族に対してできる範囲で手助けを行う認知症サポーターの養成を進めていく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
23	一時預かり事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部子育て支援課
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
子育て支援のため、通院等の突発的な事情等により一時的に家庭での保育が困難となった場合に、圏域の保育所等で乳幼児を相互に受け入れる。							保護者の育児に対する心理的・身体的負担軽減及び安心して生み育てる環境の形成				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	136,088	136,586	137,693	133,228	109,863	653,458	希望者が利用 できた割合	目標値	100	100	100	100	100																		
決算額	120,155	116,294	118,772	120,192	119,529	594,942		実績値	100	100	100	100	100																		
青森市	事業実施、保育所等への協力依頼、制度周知						進捗状況グラフ																								
役割分担 連携町村	事業実施、保育所等への協力依頼、制度周知						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	100	100	R3	100	100	R4	100	100	R5	100	100	R6	100	100
年度	実績値	目標値																													
R2	100	100																													
R3	100	100																													
R4	100	100																													
R5	100	100																													
R6	100	100																													

成果		課題・問題点
連携中枢都市圏の取組に位置付けたことにより、令和2年度から青森市の一時預かり事業の対象を圏域児童に拡大したところ。令和2年度から令和6年度までの実績は圏域内での相互利用も含め延べ約42万人の利用があり、保護者の就労及び子育ての両立を支援することができた。		利用を希望する全てのかたが利用できていることから、現状のサービスが維持できるよう努めていく。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

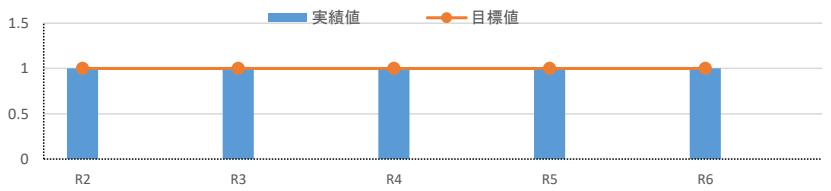
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
24	病児一時保育事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部（子育て支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
子育て支援のため、小学校3年生以下の病気の児童を、保護者が就労等の理由により自宅で保育が困難な場合に、一時的に青森市の保育所等で受け入れる。							病児にかかる保護者の心理的負担を軽減及び安心して生み育てる環境の形成				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	39,804	40,699	40,379	41,419	43,180	205,481	希望者が利用 できた割合	目標値	100	100	100	100	100																		
決算額	39,348	40,087	39,770	40,198	39,826	199,229		実績値	100	100	100	100	100																		
青森市	事業実施（保育所等へ委託）						進捗状況グラフ																								
役割分担 連携町村	制度周知、費用負担、医療機関への協力依頼						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	100	100	R3	100	100	R4	100	100	R5	100	100	R6	100	100
年度	実績値	目標値																													
R2	100	100																													
R3	100	100																													
R4	100	100																													
R5	100	100																													
R6	100	100																													

成果	課題・問題点
連携中枢都市圏の取組に位置付けたことにより、令和2年度から青森市の病児一時保育事業の対象を圏域児童に拡大したところ。令和2年度から令和6年度までの実績は圏域内での相互利用も含め延べ約2,900人の利用があり、保護者のセーフティーネットとしての役割を果たすことができた。	利用を希望する全てのかたが利用できていることから、現状のサービスが維持できるよう努めていく。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
25	東青母子保健広域ネットワーク事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	保健部（あおもり親子はぐくみプラザ）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況		
圏域の母子保健の向上を図り、切れ目のない支援を実施するため、産科医療機関等を構成員とし、健康データや事例等について情報を共有する「東青母子保健広域ネットワーク会議」を開催する。							圏域の母子健康に関する医療レベルの維持・向上及び切れ目のない支援の強化				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）		
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	167	146	132	130	130	705	会議開催回数	目標値	1	1	1	1	1
決算額	81	3	60	72	64	280		実績値	1	1	1	1	1
青森市	事業の実施、連携強化						進捗状況グラフ						
役割分担 連携町村	事業の実施、連携強化												
	今別町からのコメント 東青圏域の母子保健に関する現状や課題、取組状況等を情報共有することができ、また、産科や精神保健等の医療機関からの御意見をいただけ る貴重な機会となっている。												

成果	課題・問題点
本事業開始時に実施期間を令和2年度から令和6年度までの5年間とし、東青地域の課題として、特に精神的問題を抱える妊産婦に対する支援のあり方を重要な課題と捉えながら、切れ目ない支援方法について協議してきた。会議の中では5市町村の取組や事例の共有、パンフレットの作成等を通し、行政と産科・小児科・精神科との連携が強化された。	令和7年度以降は、圏域の母子保健に関する課題や情報等を、県が東青地域保健所管内の保健師及び医療機関を対象に開催している「東地方保健所母子保健ネットワーク会議」等の場で共有することとしている。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

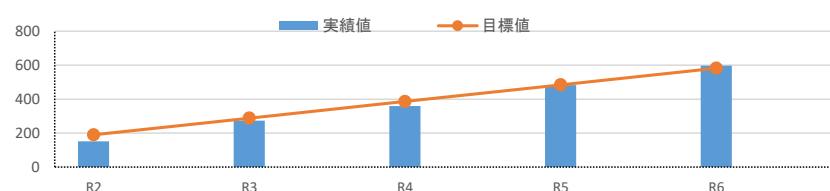
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
26	食生活改善推進員養成事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	保健部（健康づくり推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																						
圏域住民の食生活改善を図ることを目的に、地域で食生活改善のボランティア活動ができる食生活改善推進員の養成講座を開催する。							圏域住民の食生活改善				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																						
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																				
見込額	148	160	160	160	176	804	入会者数	目標値	15	15	15	15	15																				
決算額	132	0	137	126	162	557		実績値	17	0	10	10	24																				
青森市	事業の実施						進捗状況グラフ																										
役割分担	連携町村	周知活動						<table border="1"> <caption>実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>18</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>10</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>10</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>25</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>								年度	実績値	目標値	R2	18	15	R3	15	15	R4	10	15	R5	10	15	R6	25	15
年度	実績値	目標値																															
R2	18	15																															
R3	15	15																															
R4	10	15																															
R5	10	15																															
R6	25	15																															

成果		課題・問題点
講座では、居住している市町村に関わらず受講者同士の交流が見られ、同じ食生活改善推進員となる仲間としてのつながりができている。また、食生活改善推進員養成講座では、既会員も参加可能である運動の講義や住民が参加できる特別公開講座もあり、既会員への勉強の場の提供や住民の食からの健康づくりへの興味・関心を高めることにつながっている。		入会者数が目標に達していない年度があるため、さらなる事業の周知や講座が受講しやすくなる工夫を行っていく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
27	高齢者等見守り体制確保事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部（高齢者支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
○行方不明高齢者等の早期発見のため、警察から提供された情報について、青森地域広域事務組合消防本部への提供や地域の協力者へのメールマガジン等での発信を行う。							圏域内での情報共有による行方不明高齢者等の早期発見及び見守り体制の強化				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																				
○帰宅困難になるおそれのあるかたの緊急連絡先などを事前に登録し、警察等と情報共有するとともに、登録番号等を印字したシールを配布する。																															
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	294	102	133	109	294	932	登録者数	目標値	190	288	386	484	582																		
決算額	297	48	68	55	259	727		実績値	151	273	359	482	597																		
青森市	市町村間における体制の構築（SOSネットワーク）及び関係者に対する、みまもりシール等の情報提供						進捗状況グラフ																								
役割分担 連携町村	見守りに関する地域への呼びかけ、協力者の確保 みまもりシールの配布						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>151</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>273</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>359</td> <td>386</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>482</td> <td>484</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>597</td> <td>582</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	151	190	R3	273	288	R4	359	386	R5	482	484	R6	597	582
年度	実績値	目標値																													
R2	151	190																													
R3	273	288																													
R4	359	386																													
R5	482	484																													
R6	597	582																													

成果		課題・問題点
市町村間における体制の構築（SOSネットワーク）やみまもりシールの登録呼びかけを行ってきた結果、令和6年度のみまもりシール登録者数は目標値の582人を上回る597人となり、帰宅困難となる恐れのある高齢者等を見守り、支え合う体制の強化に寄与するものとなった。		行方不明高齢者等の早期発見・保護につながるよう、圏域4町村と連携し、住民や関係者等へ周知・呼びかけを行っていく必要がある。

青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
28	点訳・手話奉仕員養成事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	福祉部（障がい者支援課）
		役割	
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	

成果																							
令和2年度から、視覚障がい者および聴覚障がい者の福祉向上を目的として実施してきた点訳教室および手話教室は、令和6年度において、点訳教室の受講者が目標7名に対し6名、手話教室の受講者が目標17名に対し18名となり、地域における情報支援を担う人材の養成に寄与するものとなった。																							
課題・問題点																							
養成者数 (手話奉仕員)	目標値	17	17	17	17	17																	
	実績値	15	12	13	15	18																	
進捗状況グラフ																							
<table border="1"> <caption>進捗状況</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>13</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>18</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>						年	実績値	目標値	R2	15	17	R3	12	17	R4	13	17	R5	15	17	R6	18	17
年	実績値	目標値																					
R2	15	17																					
R3	12	17																					
R4	13	17																					
R5	15	17																					
R6	18	17																					

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
29	手話通訳者養成研修事業	令和 2 年度 ~ 令和 7 年度	福祉部（障がい者支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																					
聴覚障がいのあるかたや音声・言語機能障がいのあるかたの福祉増進と社会参加促進のため、身体障がい者福祉や手話通訳者の役割等の知識と手話通訳に必要な手話語彙、手話表現技術等を習得した手話通訳者を養成する。							障がいのあるかたの住みよい環境を形成				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	1,892	2,041	2,041	2,041	2,041	10,056	養成者数	目標値	12	13	15	16	17																			
決算額	1,892	2,010	2,010	1,888	2,010	9,810		実績値	9	6	13	13	18																			
青森市	研修の開催						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	周知活動						<table border="1"> <caption>進捗状況グラフデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>10</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>6</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>13</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>17</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	10	12	R3	6	13	R4	14	15	R5	13	16	R6	17	17
年度	実績値	目標値																														
R2	10	12																														
R3	6	13																														
R4	14	15																														
R5	13	16																														
R6	17	17																														

成果		課題・問題点
令和2年度から、聴覚障がい者等の福祉の向上を目的として手話通訳者養成研修を実施してきた結果、令和6年度には受講者が目標の17名を上回る18名となり、地域における情報支援を担う人材の養成に寄与するものとなった。		圏域の福祉の向上を図るためにには、圏域4町村と連携し、手話通訳者養成研修の周知を図り、地域における情報支援を担う人材の養成を進めていく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

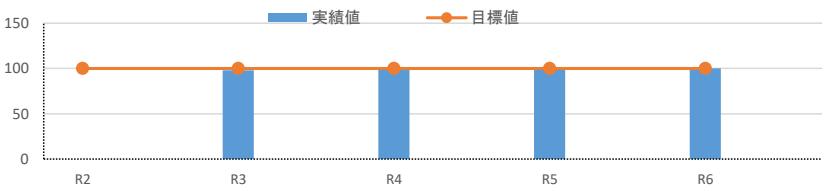
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
30	教科書採択事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局（指導課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
教科書採択を円滑に行うため、圏域内の小・中学校用教科用図書の調査研究及び選定を合同で行う。							合同開催による効率化（経費負担の軽減）				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	1,228			1,430	1,481	4,139	協議会開催回数	目標値	2			2	2																		
決算額	262			1,429	1,651	3,342		実績値	2			2	2																		
青森市	「東青地区教科用図書採択協議会」で教科書図書を選定						進捗状況グラフ																								
役割分担	連携町村	費用負担						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	R2	2	2	R3	2	2	R4	2	2	R5	2	2	R6	2	2
年度	実績値	目標値																													
R2	2	2																													
R3	2	2																													
R4	2	2																													
R5	2	2																													
R6	2	2																													

成果		課題・問題点
東津軽郡においては、各町村に教育専門職である指導主事が不在であることや学校数の減少等により教職員数が減少していることから、教科書採択における調査研究等を行う各教科の指導主事がいる本市と連携することにより、採択業務を円滑に行うことができた。		原則4年に1度の採択業務となることから、各市町村において採択業務に關わる引継ぎを確實に行う必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
31	小学生芸術鑑賞教室事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局（指導課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
人間性豊かな児童を育成するため、圏域の小学生を対象とした「演劇鑑賞教室」を開催する。							人間性豊かな圏域児童の育成				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	190	190	190	4,618	4,551	9,739	圏域内小学校の利用割合	目標値	100	100	100	100	100																		
決算額	0	0	0	3,873	3,853	7,726		実績値	0	98	100	100	100																		
青森市	事業の実施						進捗状況グラフ																								
役割分担	連携町村	関係団体との調整、事業の周知						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	R2	100	100	R3	100	100	R4	100	100	R5	100	100	R6	100	100
年度	実績値	目標値																													
R2	100	100																													
R3	100	100																													
R4	100	100																													
R5	100	100																													
R6	100	100																													

成果		課題・問題点
本事業の実施により、圏域内の小学生に本物の舞台芸術を鑑賞できる機会を一律に公平に提供することができるため、引き続き事業を実施する。		本市において、コロナ過の影響を受け、バス及び運転手の確保に困難が生じている。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

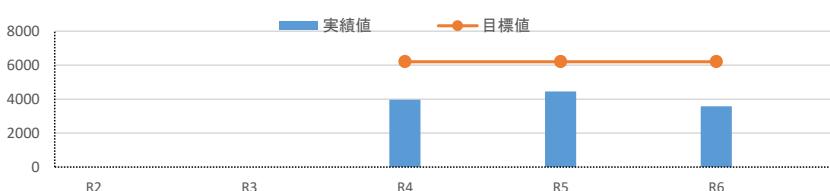
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
32	小・中学生安全安心対策事業	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	教育委員会事務局（指導課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
情報モラルに関する教育の普及を図るため、青森市教育研修センターにおいてＩＣＴ教育活用研修講座（情報モラル）を開催する。							圏域内での情報モラルに関する教育の普及啓発促進				B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	0	4,381	4,564	4,691	5,940	19,576	養成講座参加者数	目標値	68	68	68	68	68																		
決算額	0	1,582	3,225	4,390	6,286	15,483		実績値	0	67	64	67	67																		
青森市	事業の実施						進捗状況グラフ																								
役割分担	連携町村	周知活動						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>65</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>65</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>64</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>65</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>65</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	R2	65	70	R3	65	70	R4	64	70	R5	65	70	R6	65	70
年度	実績値	目標値																													
R2	65	70																													
R3	65	70																													
R4	64	70																													
R5	65	70																													
R6	65	70																													

成果		課題・問題点
専門的な知識・技能を持つネットパトロール員2名がネットパトロールによる圏域町村各学校のSNSへの書き込みの検索を行うとともに、必要に応じて、情報モラル教育指導者養成講座及び学校への出前講座に対応して情報モラルに関する教育の普及啓発を東郡各町村を含めて行っている。また、各市町村の実態に即したネットトラブルへの対応策やその予防策について具体的に研修できるようなプログラムを企画し、運営することによって情報モラルに関する教育の普及啓発が促進している。（令和2年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、情報モラル教育指導者養成講座は中止）		情報モラル教育指導者養成講座への圏域町村各学校関係者の出席率が低調（12校中4校）であることから、積極的な参加を求めていく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

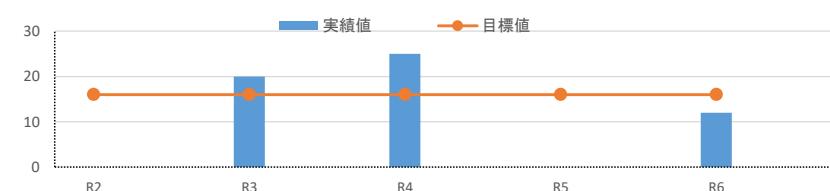
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
33	心豊かな子ども読書活動推進事業	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局（指導課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況			
圏域全体における児童生徒の読書啓発を図るため、圏域内の児童生徒から、学校図書館等の図書を対象にした読書感想文や読書新聞を募集し、コンクール形式で表彰する。							読書活動に親しみやすい環境及び豊に表現する場の圏域全体での創出				C : やや遅れている（年度の目標値の50～75%未満）			
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	
見込額			85	126	133	344	読書感想文及び 読書新聞の応募数	目標値			6,200	6,200	6,200	
決算額			73	123	122	318		実績値			3,964	4,446	3,579	
青森市	事業実施、各種事務手続、圏域町村との調整						進捗状況グラフ							
役割分担	連携町村	事業の周知、費用負担等												

成果		課題・問題点
令和4年度から、青森圏域連携中枢都市圏ビジョンに基づき、連携をスタートした。東津軽郡小・中学校からの応募は、令和4年度が5校32点だったものが、令和5年度は7校52点、令和6年度は9校41点となっており、文化面での交流・深化の一助となっている。		応募点数が目標値に達していないことから、児童生徒数の減少や、国語科等における「書く」時間の減少などある中で、目標値の変更も視野に入れながら、今後も圏域内でさらなる連携を図り、読書の大切さやコンクールについて周知を図っていく。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
34	東青地区公民館連絡協議会事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局（中央市民センター）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																								
生涯学習機会の充実を図るため、会議での情報交換や研修等により公民館の適正管理や生涯学習に関する職員の資質向上を図る。							圏域住民の生涯学習機会の充実				B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）																								
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																						
見込額	38	34	38	40	14	164	研修等参加者数	目標値	16	16	16	16	16																						
決算額	30	0	30	30	0	90		実績値	0	20	25	0	12																						
青森市	公民館の管理を適正かつ円滑に実施するための情報交換、研修等への参加等						進捗状況グラフ																												
役割分担 連携町村	事務手続きや企画、関係機関等との調整、情報交換、研修等への参加等						 <table border="1"> <caption>実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>20</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>25</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>0</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>12</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table>											年度	実績値	目標値	R2	0	16	R3	20	16	R4	25	16	R5	0	16	R6	12	16
年度	実績値	目標値																																	
R2	0	16																																	
R3	20	16																																	
R4	25	16																																	
R5	0	16																																	
R6	12	16																																	

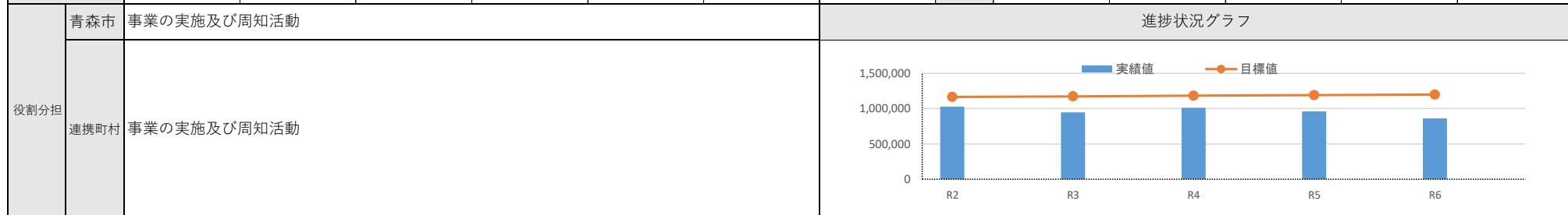
成果		課題・問題点
新型コロナウイルスの影響により令和2年度の研修会は中止となったが、令和3年度及び4年度は研修会を実施し、それぞれ目標値を上回る参加者があった。令和5年度は事務局都合により研修会が中止となったが、令和6年度は研修会を実施し目標値を概ね達成する参加者があった。		会議及び研修への参加は、公民館相互の情報共有や公民館職員の資質向上に重要であることから、継続して研修会を実施する必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
35	図書館相互利用事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局（市民図書館）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
図書館の利便性向上を図るため、圏域の図書館・図書室において、圏域住民に対し図書館等資料の貸し出し等のサービスを相互に提供する。	圏域住民の読書機会の増大	C：やや遅れている（年度の目標値の50～75%未満）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額	126,853	126,607	125,949	147,458	148,602	675,469	年間貸出数	目標値	1,165,600	1,174,200	1,182,800	1,191,400	1,200,000
決算額	124,765	123,188	133,251	144,960	143,403	669,567		実績値	1,027,939	946,907	1,011,435	960,350	861,304



成果	課題・問題点
圏域住民が「青森県内図書館共通利用券」の提示なしに資料の貸出・予約等のサービスを利用可能とする相互利用事業を実施した。年間貸出数は減少傾向にあり、最終年度については、目標値の約70%以上にとどまった。しかしながら登録者数は、令和6年度では180名で、令和5年度165名から増加しており、連携事業の役割を概ね果たしている。	圏域住民の利用促進を図るため、図書館相互利用サービスの周知を引き続き行う必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
36	青森圏域市町村連携第80回国民スポーツ大会PR事業	令和5年度～令和6年度	経済部（国スポ・障スポ総務課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																					
令和5年に青森県で開催される第80回国民スポーツ大会に向けた機運醸成やスポーツによる地域活性化を図るため、圏域市町村が連携し大会PRイベント等を実施する。							国民スポーツ大会に対する圏域住民の理解促進及び参加意欲の向上やスポーツによる地域活性化				—：検討段階の事業																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額				1,801	0	1,801	大会PR活動数	目標値				1	1																			
決算額				1,318	0	1,318		実績値				1	—																			
青森市	イベントやキャンペーンでのPR						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	イベントやキャンペーンでのPR						<table border="1"> <caption>PR活動実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	0	0	R3	0	0	R4	0	0	R5	1.0	1.0	R6	0	0
年度	実績値	目標値																														
R2	0	0																														
R3	0	0																														
R4	0	0																														
R5	1.0	1.0																														
R6	0	0																														

成果		課題・問題点
令和8年の第80回国民スポーツ大会の開催に向けた機運醸成を図るため、令和5年度に圏域住民の方を対象としたイベントを実施した結果、令和8年の開催に向けて圏域住民の理解促進及び参加意欲の向上に寄与した。		令和7年度以降の国民スポーツ大会のPRについては、県が令和6年度から新たに県内6圏域を対象に開催している「市町村広報・おもてなし担当者会議」を活用し、実施していくこととしたため、令和6年度をもって、ビジョンへの位置づけを終了したところ。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
37	東青地区中学校体育大会夏季大会開催事業	令和 6 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局（指導課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況					
圏域全体における中学生のスポーツマンシップの涵養やスポーツ技術の向上等を図るため、東青中学校体育大会夏季大会を開催する。							事業の安定運営、スポーツマンシップの涵養、スポーツ技術の向上、圏域内の生徒の親睦				B : 概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6			
見込額					445	445	県・東北・全国中学校体育大会で入賞した種目数	目標値					21			
決算額					597	597		実績値					18			
青森市	費用負担、事務手続き、関係機関等との調整						進捗状況グラフ									
役割分担	連携町村	費用負担、関係機関等との調整														

成果				課題・問題点				
中学校体育大会開催のニーズは高く、県・東北・全国中学校体育大会で入賞した生徒数（のべ数）は一定の数で推移しており、本事業の実施が県・東北・全国中学校体育大会に出場し、入賞した種目数の維持に繋がっていると考えます。				東青中学校体育大会夏季大会の安定的な運営を図ることが、県・東北・全国中学校体育大会で入賞した種目数の継続維持つながるため、継続した負担金の交付が必要である。				

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

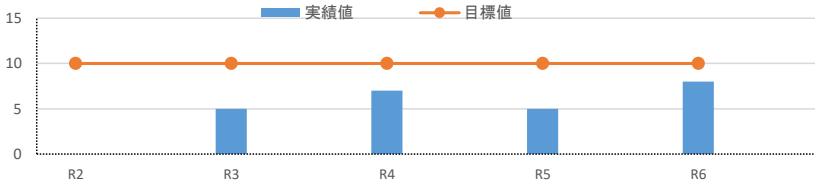
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
38	東青地区中学校文化連盟活動事業	令和 6 年度 ~ 令和 6 年度	教育委員会事務局指導課
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況		
青森圏域内各市町村の文化活動の充実・発展を図るため、圏域の中学校の文化活動を振興する「東青中学校文化連盟」に加盟している各専門部会が行う中学生のコンクール・発表会等の開催や調査・研究などの事業を支援する。							事業の安定運営、文化活動による地域活性化				B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）		
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額				162	162		中学校文化連盟が開催する音楽会及び演劇発表会での入場者数	目標値					1,820
決算額				205	205			実績値					1,800
青森市	費用負担、事務手続き、関係機関等との調整						進捗状況グラフ						
役割分担	連携町村	関係機関等との調整						1830	実績値	目標値			
								1820					
								1810					
								1800					
								1790					
								R2	R3	R4	R5	R6	

成果				課題・問題点				
本事業の実施により、圏域内の中学校の文化活動の充実・発展に結びつき、子どもたちが活躍する場を支援することに繋がっている。				圏域内の文化活動一層の推進のために、子どものときから多くの文化活動に触れる環境づくりが重要であることから、本事業を実施し、圏域内の文化・芸術活動を継続して支援する必要がある。				

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

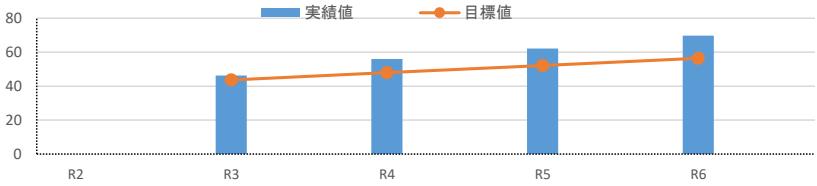
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
39	あおもりフィールドスタディ支援事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	経済部（創業・人づくり推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
産学金官連携による地域経済活性化と若手リーダー人材の育成を図るため、経済活性化や産業振興等をテーマに、学生団体等が多様な主体と連携して行う地域課題の解決や将来の起業につながるフィールドスタディ（現地学習）を支援する。							地域課題の解決に若者が参画することによる地域の活性化				B : 概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	4,100	4,156	3,510	3,462	3,462	18,690	本事業を活用して学生団体等が実施した事業数	目標値	10	10	10	10	10																		
決算額	0	1,610	2,501	1,567	2,046	7,724		実績値	-	5	7	5	8																		
青森市	事業実施、各種手続き、関係機関等との調整						進捗状況グラフ																								
役割分担 連携町村	制度の広報活動（利用促進、参加呼びかけ等）、費用負担等  今別町からのコメント ・事業内容確定前に参画団体で協議を行い、より良い事業にしていきたい。						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>7</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>8</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	5	10	R3	7	10	R4	10	10	R5	5	10	R6	8	10
年度	実績値	目標値																													
R2	5	10																													
R3	7	10																													
R4	10	10																													
R5	5	10																													
R6	8	10																													

成果		課題・問題点
令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により事業が中止となったが、令和3年度からは、若手リーダー人材の育成等を図るため、学生団体等が多様な主体と連携して圏域で実施する現地学習の支援について制度の広報活動等に取り組んできた結果、令和6年度に学生団体等が実施した事業数は目標値の10件には届かなかったものの、昨年度・一昨年度と概ね同程度の件数で推移しており、地域の活性化等に一定程度寄与するものとなった。		地域経済活性化と若手リーダー人材の育成を図るためには、これまで以上にビジネスプランの創出に向けた取り組みが必要である。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

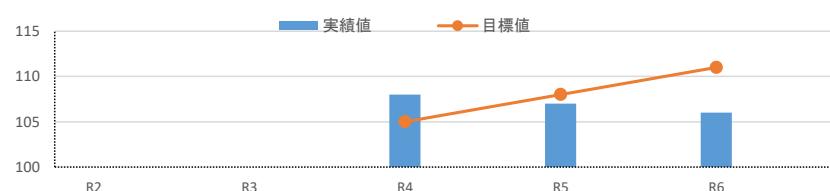
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
40	青森圏域重点事業要望事務	令和 3 年度 ~ 令和 6 年度	企画部（企画調整課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
圏域市町村のみでは解決が困難な事案や課題の解決に向け、圏域単位で重点要望として取りまとめ、県に対する説明会等を通じて、その実現に向けた協力を要請する。							共通の行政課題として提案することによる発言力の向上				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額		68	68	62	59	257	要望事項実現率 (進捗ありを含む)	目標値		43.6	47.9	52.1	56.4																		
決算額		28	34	26	52	140		実績値		46.2	56.0	62.1	69.7																		
青森市	重点要望事業の取りまとめ、説明会等への出席						進捗状況グラフ																								
役割分担 連携町村	重点要望事業の取りまとめ、説明会等への出席						 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>43.6</td> <td>43.6</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>47.9</td> <td>47.9</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>52.1</td> <td>52.1</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>56.4</td> <td>56.4</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>69.7</td> <td>69.7</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	43.6	43.6	R3	47.9	47.9	R4	52.1	52.1	R5	56.4	56.4	R6	69.7	69.7
年度	実績値	目標値																													
R2	43.6	43.6																													
R3	47.9	47.9																													
R4	52.1	52.1																													
R5	56.4	56.4																													
R6	69.7	69.7																													

成果	課題・問題点
県への要望事項について、令和3年度から令和6年度において目標値を達成していることから、圏域市町村のみでは解決が困難な事案や課題の解決が図られていると判断できる。	今後においても、解決困難な事業や課題を要望として重点事業要望として取りまとめ、引き続き県に対して働きかけていくこととしている。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
41	地域花いっぱいいまちづくり事業	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度	都市整備部（公園河川課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
圏域内の各市町村において地域色豊かな緑化活動を推進していくため、公園緑地などに花植えをする団体に対し、花苗等資材の提供などを行う。							圏域全体における地域づくりの推進				B : 概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額			2,435	2,406	2,405	7,246	花苗等提供団体数 及びフラワーロード参加団体数	目標値			105	108	111																		
決算額			2,344	2,309	2,342	6,995		実績値			108	107	106																		
役割分担	青森市	申請受付、支給に係る一連の作業、圏域町村との調整等					進捗状況グラフ																								
	連携町村	対象場所の選定、団体への支援、広報、費用負担等  外ヶ浜町からのコメント  ・R6年度は当町から延べ5団体が当該事業を利用し、緑化活動を実施した。 地域コミュニティの活動推進にも寄与し、有用な事業だと考える。 ・事業の実施に関して、参加団体募集のチラシを配布し事業を行っている					 <table border="1"> <caption>実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>105</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>108</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>105</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>108</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>106</td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	105	111	R3	108	111	R4	105	111	R5	108	111	R6	106	111
年度	実績値	目標値																													
R2	105	111																													
R3	108	111																													
R4	105	111																													
R5	108	111																													
R6	106	111																													

成果	課題・問題点
令和4年度より、圏域内の各市町村において地域色豊かな緑化活動を推進していくため、公園緑地などに花植えをする団体に対し、花苗等資材の提供などを行っている。初年度である令和4年度は、参加団体数が目標値105団体に対し108団体の実績であり、目標値を上回ったところであるが、令和5年度は目標値108団体に対し107団体、令和6年度は目標値111団体に対し106団体の実績となっている。参加団体数は微減したものの、一定数の参加団体は確保できており、圏域内における緑化活動の推進は概ね順調である。	参加団体及び参加者の高齢化や固定化により、参加団体数の減少が懸念される。 資材価格の上昇により、提供数の減少が懸念される。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
42	水道事業の広域連携事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	水道部（総務課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
圏域における水道工事の技術水準の維持向上及び経営効率化のため、災害訓練や指定業者研修会の共同開催、平時・緊急時の水質管理等を一体的に行う。							災害時に対応する体制の強化				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	1,465	4,710	9,560	8,742	8,750	33,227	共同開催する災害訓練の参加人数（延べ人数）	目標値	1	1	1	1	1																		
決算額	1,464	4,710	8,559	8,741	9,250	32,724		実績値	1	0	0	1	1																		
役割分担	青森市	圏域における水道工事の技術水準の維持向上及び経営効率化の推進					進捗状況グラフ																								
	連携町村	同上					<table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>0.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	1.0	1.0	R3	0.0	1.0	R4	0.0	1.0	R5	1.0	1.0	R6	1.0	1.0
年度	実績値	目標値																													
R2	1.0	1.0																													
R3	0.0	1.0																													
R4	0.0	1.0																													
R5	1.0	1.0																													
R6	1.0	1.0																													

成果	課題・問題点
<p>水道事業の広域連携事業については、東青地区5市町村での会議（東青地区会議）を通じ、継続して広域連携に取り組み、圏域における水道工事の技術水準の維持向上及び経営効率化が図られた。</p> <p>具体的には、災害訓練について、令和3年度及び令和4年度は中止したものの、令和5年度、令和6年度に実施したほか、に再開したほか、給水装置関連や水質管理関連の分野においても段階的な連携を進めてきた。</p> <p>&lt;連携項目&gt;</p> <p>(1)災害対策関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①災害訓練等の共同開催（R2年度は平内町で開催、R3・4年度は新型コロナ感染症対策のため中止、R5年度は今別町、R6年度は外ヶ浜町で開催。R7年度は青森市で開催予定）</li> <li>②民間事業者との災害時応援協定の広域化（R7年度は調整を継続）</li> </ul> <p>(2)給水装置関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①施工基準の統一化（R2.10月から本格運用開始）</li> <li>②指定業者研修会の共同開催（R4年度から毎年2月に青森市で開催）</li> </ul> <p>(3)水質管理関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①維持管理上の水質管理の連携（R2から蓬田村、R3から今別町、R4から外ヶ浜町の水質管理業務を受託）</li> <li>②緊急時等の水質維持対応の連携（R2年度から連携を開始）</li> </ul>	<p>青森県水道広域化推進プランに基づく検討（事務の広域的処理、施設の共同設置・共同利用、経営の一体化、事業統合）を進めるとともに、3分野以外の連携可能な分野についても拡大が図れるよう、今後も東青地区会議を通して広域化を推し進めていく必要がある。</p> <p>このプランにおいて、特に広域化効果が大きいと見込まれる「経営の一体化」及び「事業統合」については、令和6年度東青地区会議において、「青森市の事業規模が突出して大きい一方で、料金水準が著しく低く、必要な諸条件を整えることが難しい」と結論付けたものの、今後の状況変化等に的確かつ迅速に対応できるよう、経営状況等といった基礎データについては年度毎に更新するなど、地区内の情報の見える化・共有化を継続していく。</p>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
43	自主防災活動促進事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	総務部（危機管理課）
		役割	
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	
		(1) 生活機能の強化に係る政策分野	

成果	課題・問題点
<p>本事業では、圏域の各地域における自主防災活動を推進するため、圏域職員及び自主防災組織のリーダー等を対象に、災害や防災に係る情報共有及び課題解決に向けた会議等を開催してきた。</p> <p>本事業の開始当初は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことにより参加者数が1桁となり、伸び悩みが見られたものの、着実な事業の継続により令和4年度以降は目標値を達成し、圏域の結びつきがより強まっており、圏域の防災体制向上の一助となっている。</p>	<p>第1期は、目標値を達成するなど参加者数が順調に推移しており、圏域の防災体制向上につなげるため、第2期についても引き続き、災害や防災に係る情報共有及び課題解決に向けた会議等の開催を継続していく必要がある。</p>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
44	国土強靭化連携推進事業	令和 3 年度 ~ 令和 6 年度	都市整備部（都市政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

成果	課題・問題点
<p>令和2年12月に青森圏域5市町村国土強靭化地域計画を策定し、国の支援内容や本市の予算を踏まえ、当該計画に基づく事業の追加等を行うことにより、当該計画への掲載が国の交付金等「重点化」「要件化」の条件となっている事業を全て掲載している。</p>	<p>「重点化」等の国の支援対象となるためには、国土強靭化に係る補助金や交付金を活用する取組が、地域計画に基づく取組であること又は地域計画に明記された事業であることが求められている。</p> <p>そのため、青森圏域5市町村国土強靭化地域計画に基づく取組の着実な実施に向け、国の支援の状況を注視しながら、国土強靭化に係る補助金や交付金を活用して新たに実施する事業については「青森圏域5市町村国土強靭化地域計画」の事業一覧に追加するなど、必要な取組を継続する必要がある。</p>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

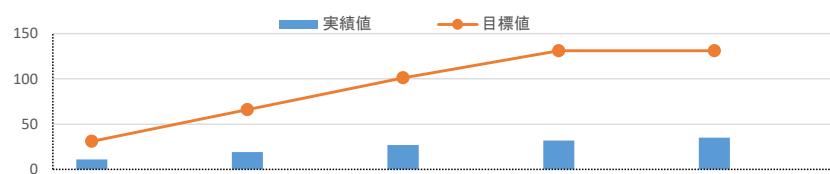
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
45	むつ湾広域連携事業（環境）	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	環境部（環境政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
陸奥湾の良好な水質環境の維持のため、陸奥湾沿岸市町村と圏域の活動団体が一体となって環境保全活動を推進する。							陸奥湾の環境保全				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	2,119	2,049	2,195	2,479	1,478	10,320	環境保全活動の参加者数	目標値	556	667	778	889	1,000																		
決算額	75	787	1,757	2,095	246	4,960		実績値	180	1,577	2,434	2,508	2,595																		
青森市	協議会事業の全体調整、費用負担や各部会での事業企画、実施						進捗状況グラフ																								
役割分担	連携町村	協議会への参画、費用負担						<table border="1"> <caption>環境保全活動の参加者数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>180</td> <td>556</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,577</td> <td>667</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2,434</td> <td>778</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2,508</td> <td>889</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>2,595</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	R2	180	556	R3	1,577	667	R4	2,434	778	R5	2,508	889	R6	2,595	1,000
年度	実績値	目標値																													
R2	180	556																													
R3	1,577	667																													
R4	2,434	778																													
R5	2,508	889																													
R6	2,595	1,000																													

成果		課題・問題点
陸奥湾の良好な水質環境の維持のため、陸奥湾沿岸市町村と圏域の活動団体が一体となり、むつ湾フォーラムの開催や清掃活動、植樹活動等の環境保全活動を行ってきた結果、環境保全活動の参加者数は年々増加し、令和6年度の実績値は2,595人と目標値を達成するとともに令和2年度の180人から大きく増加し、陸奥湾沿岸市町村の住民の環境保全意識がより高まった。		環境保全活動の参加者数は目標値を達成している状況であるが、今後も陸奥湾の良好な水質環境の維持のため、陸奥湾沿岸市町村と圏域の活動団体が一体となって環境保全活動を推進し、環境保全に向けた意識啓発に取り組んでいく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
46	協働による環境教育・環境学習事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	環境部（環境政策課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
地球温暖化や陸奥湾等に関する環境保全の意識醸成のため、幼児等を対象に、N P Oなどの市民団体等と協働して環境学習機会等を提供する。							地球温暖化防止、環境保全のための意識醸成				D：遅れている（年度の目標値の50%未満）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	3,482	869	870	870	870	6,961	むつわんかるたを用いた環境学習実施箇所数	目標値	31	66	101	131	131																		
決算額	2,956	866	866	839	865	6,392		実績値	11	19	27	32	35																		
青森市	主体的な事業実施、各種事務手続き、関係機関等との調整等						進捗状況グラフ																								
役割分担 連携町村	各町村における周知活動、関係機関との調整、費用負担等						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>11</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>19</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>27</td> <td>101</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>32</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>35</td> <td>131</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	11	31	R3	19	66	R4	27	101	R5	32	131	R6	35	131
年度	実績値	目標値																													
R2	11	31																													
R3	19	66																													
R4	27	101																													
R5	32	131																													
R6	35	131																													

成果	課題・問題点
<p>「むつわんかるた」を活用した出前授業については、第1期（R2～R6）の期間内に、圏域内131か所の全保育所等で1回は実施することを目標としているが、令和2年度に圏域内の全保育所等に「むつわんかるた」を配付しており、出前授業を実施しなくとも、自ら「むつわんかるた」を活用して環境教育を行っている保育所等もあるため、令和6年度時点における目標達成状況は、圏域内131か所の保育所等のうち、35か所にとどまり、目標達成には至っていない。</p> <p>しかしながら、幼児だけではなく、児童を対象とした出前授業や、イベントへの出展等による「むつわんかるた」普及に関する事業を実施することで、毎年度の出前授業等の実施回数は、令和2年度が11か所、令和3年度が20か所、令和4年度が37か所、令和5年度が35か所、令和6年度が35か所と、増加傾向にあり、当該事業の目的である「地球温暖化や陸奥湾等に関する環境保全の意識醸成」については、着実に進めることができている。</p>	<p>幼児等を対象とした「むつわんかるた」を活用した出前授業について、令和2年度に圏域内の全保育所等に「むつわんかるた」を配付していることから、自ら「むつわんかるた」を活用した環境教育を行っている保育所等もあるが、出前授業では、「むつわんかるた」を活用した環境啓発のほか、D V Dや紙芝居によるむつ湾の環境保全の啓蒙活動も含まれているため、実施回数の増加に向けた周知、浸透が課題となっている。</p>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

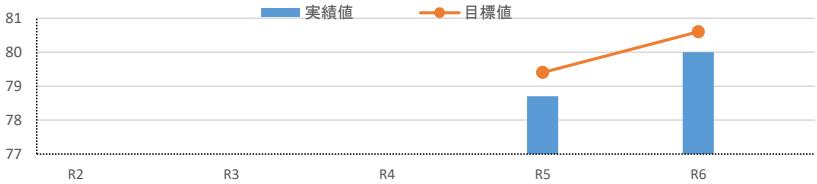
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
47	森と湖に親しむ集い事業	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度	都市整備部（公園河川課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

成果	課題・問題点
<p>平成元年度から青森森林管理署、青森県、青森市の3者共同で実施してきた本事業を、令和4年度から青森圏域連携中枢都市圏事業に位置付け、圏域内の各町村と連携を図りつつ事業を実施してきた。</p> <p>本市においては令和5年度・令和6年度ともに1回ずつ実施、平内町においても令和6年度に実施し、参加した小学生の、森や川の役割への関心が深まり、自然保護の意識醸成が図られた。</p>	<p>圏域全体における自然保護意識の醸成には、引き続き圏域内の各市町村と連携し、継続的に事業を実施する必要がある。</p>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
48	汚水等処理事業	令和 5 年度 ~ 令和 6 年度	環境部（清掃管理課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(1) 生活機能の強化に係る政策分野

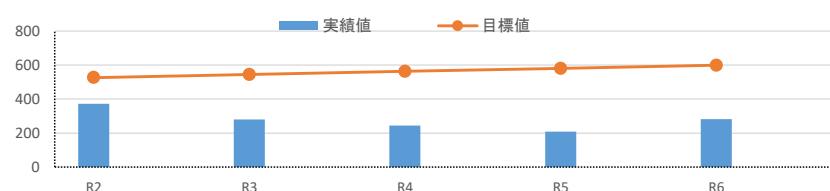
内容	連携効果	目標達成状況
陸奥湾の自然環境の保全を図るため、圏域の汚水等※について、広域的集約処理による、汚水処理事業の効率化に取り組む。  ※し尿及び浄化槽汚泥・農業集落排水汚泥	圏域全体における自然環境保全の推進	B : 概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）

年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	
見込額				514,472	519,865	1,034,337	生活排水処理率	目標値				79.4	80.6	
決算額				462,141	479,198	941,339		実績値				78.7	80.0	
青森市	青森地域広域事務組合と調整、費用負担										進捗状況グラフ			
役割分担	連携町村	青森地域広域事務組合と調整、費用負担												

成果	課題・問題点
圏域内5市町村の汚水等処理に係る取組の情報共有や、人口減少下においても汚水等処理体制の充実と効率的な処理を行うことへの問題意識の共有化が図られたことにより、圏域内5市町村で構成される青森地域広域事務組合による汚水等処理施設の効率的な管理運営につながった。	今後は、各市町村が策定する「生活排出処理基本計画」において、汚水等の適正な処理を確保し、青森地域広域事務組合と連携しながら、持続可能な汚水処理体制を構築することにより、圏域住民の生活環境の向上と地域の自然環境に取り組んでいく。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

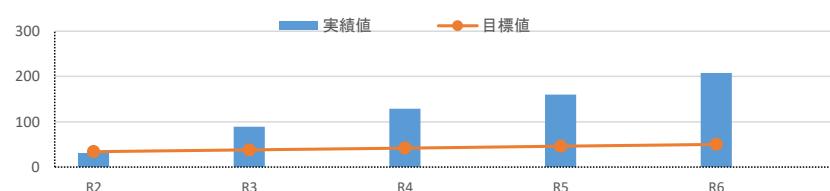
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
49	あおもり新しい働き方支援事業（Uターン就職支援）	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	経済部（創業・人づくり推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																					
○進学・就職等で流出した人材還流促進のため、圏域内企業の人材確保を支援するとともに、圏域へのUターン就職希望者に地元の企業情報の発信等を行う。							圏域への人材の還流促進				D：遅れている（年度の目標値の50%未満）																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	8,642	8,057	8,282	8,418	7,363	40,762	Uターン就職等に関する相談件数	目標値	527	545	563	581	599																			
決算額	6,076	5,887	9,476	4,253	5,183	30,875		実績値	372	280	244	209	283																			
青森市	主体的な事業実施、各種事務手続き、関係機関等との調整等						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	各町村における周知活動、関係機関との調整、費用負担等						 <table border="1"> <caption>Uターン就職等に関する相談件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>372</td> <td>527</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>280</td> <td>545</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>244</td> <td>563</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>209</td> <td>581</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>283</td> <td>599</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	372	527	R3	280	545	R4	244	563	R5	209	581	R6	283	599
年度	実績値	目標値																														
R2	372	527																														
R3	280	545																														
R4	244	563																														
R5	209	581																														
R6	283	599																														

成果		課題・問題点
令和2年度に「Uターン就職支援事業」として、令和3年度から「あおもり新しい働き方支援事業」として圏域への移住希望者に対する就職支援等に取り組んできた結果、首都圏で実施したイベント等での相談者が想定よりも少なかったものの、283件の実績があり、圏域への人材還流促進に一定程度寄与するものとなった。		人口減少が進む中、進学・就職等で流出した人材の還流を促進を図るために、生活圏や経済圏が密接に結びつく圏域4町村と連携し、圏域全体でのUターン就職支援活動の強化が必要となる。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
50	新しい働き方担い手誘致・東青地域移住促進事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	企画部（連携推進課）
		役割	連携施策
		圏域全体の経済成長のけん引	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
首都圏などに居住し、圏域への移住を希望する移住ニーズへの確に対応していくため、SNSを活用した圏域の情報発信、首都圏での移住相談会等の開催や圏域での移住、ワーケーション体験などを実施する。							圏域外への情報発信及び圏域への移住促進				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	4,262	5,110	25,686	31,270	24,964	91,292	圏域内への移住者数	目標値	34	38	42	46	50																		
決算額	796	931	12,219	16,297	17,814	48,057		実績値	31	89	129	160	208																		
役割分担	青森市	移住相談会等の企画、実施、各種事務手続き、関係機関等との調整					進捗状況グラフ																								
	連携町村	移住相談会等への参加、パンフレット・情報提供、広報活動、費用負担等  平内町からのコメント  ・東青地域 5 市町村合同での移住フェアを実施し、市町村の紹介やご当地クイズ大会、先輩移住者トーク、個別相談を行い、東青地域全体で移住者の獲得に努めた。なお、平内町の相談者数は 6 組 7 名であった。					 <table border="1"> <caption>実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>~30</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>~80</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>~120</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>~160</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>~200</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	~30	34	R3	~80	38	R4	~120	42	R5	~160	46	R6	~200	50
年度	実績値	目標値																													
R2	~30	34																													
R3	~80	38																													
R4	~120	42																													
R5	~160	46																													
R6	~200	50																													

成果	課題・問題点
圏域への移住者や関係人口の拡大に関する取組を連携して行うため、令和3年1月に東青地域移住・交流サポート協議会を設立し、SNSを活用した圏域の情報発信、首都圏での移住相談会等の開催、圏域での移住体験やワーケーション体験及び新しい働き方移住支援金交付について、圏域で連携し取組を進めてきた。これにより、圏域への移住者数は令和6年度時点で208人(令和7年7月31日時点)と目標を大きく上回っている。	圏域内への移住者数は増加傾向にあり目標を達成している状況であるが、圏域の人口は減少傾向となっていることから引き続き移住者の増加に向けた取組を行っていく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

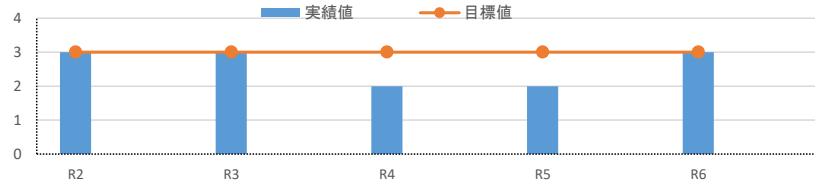
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
51	消費生活相談事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	市民部（生活安心課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																					
消費生活トラブルや多重債務で悩みを抱えている圏域住民救済のため、青森市民消費生活センターにおいて消費生活相談及び多重債務相談を実施する。							圏域住民の消費者被害の抑制				B：概ね順調（年度の目標値を概ね（75%以上）達成）																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	13,890	13,947	13,960	14,083	15,061	70,941	相談件数	目標値	1,391	1,445	1,499	1,553	1,607																			
決算額	13,889	13,599	13,958	14,082	15,059	70,587		実績値	1,521	1,409	1,480	1,541	1,492																			
青森市	主体的な事業実施						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	費用負担、周知及び広報活動						<table border="1"> <caption>実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>1,521</td> <td>1,391</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1,409</td> <td>1,445</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,480</td> <td>1,499</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,541</td> <td>1,553</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>1,492</td> <td>1,607</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	1,521	1,391	R3	1,409	1,445	R4	1,480	1,499	R5	1,541	1,553	R6	1,492	1,607
年度	実績値	目標値																														
R2	1,521	1,391																														
R3	1,409	1,445																														
R4	1,480	1,499																														
R5	1,541	1,553																														
R6	1,492	1,607																														

成果	課題・問題点
住民からの消費生活に関する相談に適切な対応が出来るよう、東青地域の市町村が連携し、青森市民消費生活センターにおいて消費生活相談を行うことで、相談件数は目標値を概ね達成しており、そのうち圏域町村からの相談件数は、延べ184件（令和2年度：48件、令和3年度：22件、令和4年度：34件、令和5年度：37件、令和6年度：43件）となっているところであり、住民サービスの向上及び圏域住民の消費者被害の抑制が図られている。	スマートフォン等の携帯端末の普及に伴い、幅広い年齢層において、インターネット通販やSNSに関するトラブルが増加しており、また高齢者を狙った「特殊詐欺」や「悪質商法」による被害も後を絶たないなど、消費者被害の手口は年々悪質化、巧妙化していることから、消費者トラブルの解決に向けて引き続き、圏域住民に対する青森市民消費生活センターの周知を行っていく必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

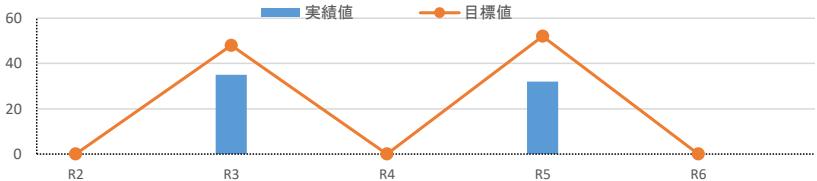
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
52	東青地域男女共同参画ネットワーク事業	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	市民部（人権男女共同参画課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																					
圏域の情報共有を図るため、圏域内市町村が東青地域男女共同参画ネットワーク（圏域内における団体及び個人で構成）と連携し、男女共同参画を推進するため会議や学習会を実施する。							男女共同参画に関する活動をサポートするための連携強化				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	0	0	0	3	1	4	会議等開催回数	目標値	3	3	3	3	3																			
決算額	0	0	0	0	1	1		実績値	3	3	2	2	3																			
青森市	事業実施（合同会議、学習会の実施等）						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	事業実施（合同会議、学習会の実施等）						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	3	3	R3	3	3	R4	2	3	R5	2	3	R6	3	3
年度	実績値	目標値																														
R2	3	3																														
R3	3	3																														
R4	2	3																														
R5	2	3																														
R6	3	3																														

成果		課題・問題点
年3回の実施を目標としている会議や学習会等について、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止等の理由により学習会が中止となり、目標を達成できない年度もあったが、概ね達成することができた。事業実施の主体となる市町村を輪番制とすることや、東青地域男女共同参画ネットワークと連携し、サポートを受けたことにより、事業期間内に各市町村において男女共同参画に関する事業を実施できたことから、東青地域全体の男女共同参画の推進に寄与しているものと考える。		引き続き、男女共同参画を推進するための事業を実施していくため、より一層圏域内市町村及び東青地域男女共同参画ネットワークとの連携を強化し、相互協力を図る必要がある。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

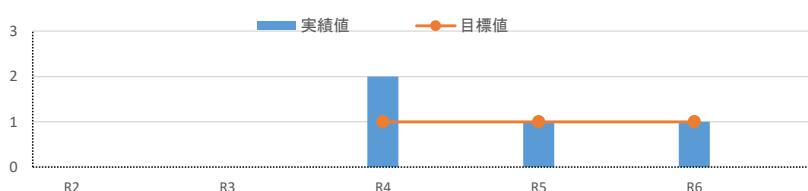
事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
53	成年後見制度法人後見支援事業	令和 2 年度 ～ 令和 6 年度	福祉部（障がい者支援課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																					
<p style="text-align: center;"><span style="background-color: #0070C0; color: white; padding: 2px 10px;">隔年事業</span></p> <p>知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分でないかたに対して財産管理等の支援を行い、その権利を守るために、法人後見の人材育成及び活用を図るための研修を実施する。</p>							圏域の法人後見の人材育成				—：検討段階の事業																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額	-	207	-	186	-	393	修了者数	目標値	-	48	-	52	-																			
決算額	-	123	-	123	-	246		実績値	-	35	-	32	-																			
青森市	研修開催						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	周知活動						 <table border="1"> <caption>進捗状況グラフデータ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>35</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>32</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>							年度	実績値	目標値	R2	0	0	R3	35	50	R4	0	0	R5	32	50	R6	0	0
年度	実績値	目標値																														
R2	0	0																														
R3	35	50																														
R4	0	0																														
R5	32	50																														
R6	0	0																														

成果		課題・問題点
<p>令和2年度から法人後見を担う人材の育成および活用を目的として、社会福祉法人等を対象に隔年で研修を実施してきた結果、目標には届かないものの、研修には令和3年度には35者、令和5年度には32者の法人等に参加いただいたところであり、圏域における成年後見人を担う人材の育成が図られた。</p>		<p>参加対象法人には開催案内等を直接送付するなどして参加を呼び掛けたものの、研修会が年度末の開催となったこともあり、目標値に対して実績が7割に満たない状況となっている。</p> <p>このため、今年度は開催時期の見直しを行うとともに、本市と連携町村の関係団体に対して引き続き積極的な周知を図るほか、受講意欲の向上を図るため、実務に即した内容を研修に盛り込む必要がある。</p>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
54	除排雪力向上連携ネットワーク形成事業	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度	道路維持課
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況		
○豪雪災害時においても、圏域内の各市町村において住民生活の維持及び道路交通の確保ができるよう、連携して除排雪作業ができる体制の構築を目指し、除排雪力の向上に資する取組（除排雪オペレーター講習会）や情報共有を行う。							雪に強く快適で安全な地域づくりの推進				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）		
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6
見込額			363	1,165	1,163	2,691	講習会の実施回数	目標値			1	1	1
決算額			179	130	365	674		実績値			2	1	1
青森市	事業の企画、運営						進捗状況グラフ						
役割分担 連携町村	課題等の情報提供等												
	<p>平内町からのコメント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>除排雪作業にあたって必要となるオペレーターの技術向上及び除排雪の体制強化等講習会において習得できた。</li> </ul>												

成果		課題・問題点
<p>令和4年度より、青森圏域の除排雪事業を受託する事業者及び行政職員を対象に、運転技術及び安全意識の向上を目的とした除排雪オペレーター講習会を開催し、圏域の除排雪力の向上を図った。</p> <p>令和5年度からは、除排雪作業の担い手となる除雪オペレーターの育成に係る技能講習等の費用の一部を負担する、除雪オペレーター担い手育成支援事業の連携事業化を行った。</p>		除雪オペレーター育成支援事業補助金について、他町村の申込件数が少ないとから、事業の周知機会を増やすことなどにより、制度の利用を促す必要があると考えられる。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
55	職員人事交流	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	企画部（総務部）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																				
様々な行政課題の解決や圏域職員の資質向上のため、人事交流を促進する。							他市町村職員との交流による資質の向上及び連携意識の醸成				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																				
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																		
見込額	0	11,881	21,365	25,600	11,704	70,550	人事交流人數 (累計)	目標値	0	2	4	6	8																		
決算額	0	12,712	22,339	25,638	11,130	71,819		実績値	0	2	6	10	12																		
青森市	必要となる人事交流分野における派遣・受入に係る事務手続き等						進捗状況グラフ																								
役割分担	連携町村	必要となる人事交流分野における派遣・受入に係る事務手続き等						<table border="1"> <caption>実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>6</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>12</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>						年度	実績値	目標値	R2	0	0	R3	1	2	R4	6	4	R5	10	6	R6	12	8
年度	実績値	目標値																													
R2	0	0																													
R3	1	2																													
R4	6	4																													
R5	10	6																													
R6	12	8																													

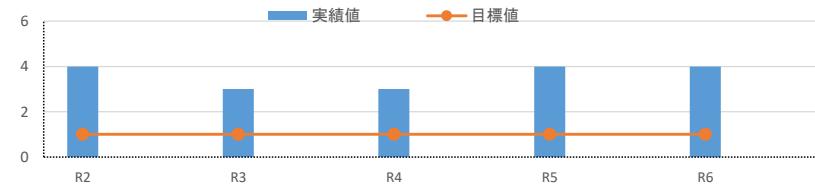
成果	課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度を除き、毎年度人事交流を実施し、目標値8人に対し12人の実績となり、目標値を達成することができた。</li> <li>職員が異なる環境下での経験を積むことで、視野を広げ、専門的な知識やノウハウを習得し、問題解決能力や企画立案能力を高めること、また、圏域の自治体と協力関係の深化に寄与できたものと考えられる。</li> </ul>	<p>派遣された職員からの声として、「異なる環境に慣れることが難しかった」との声を受けて、派遣を決定する前の段階において、派遣先の市町村の職場環境や業務について、理解を深めることを目的とした実践的な業務体験機会を設けること、また、派遣後においても、派遣職員への負荷がかかりすぎないよう、職場内のサポートや派遣職員の能力が発揮できる環境づくりが必要と考える。</p>

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
56	職員研修	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度	総務部（人事課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

内容	連携効果	目標達成状況
圏域職員の資質向上のため、共通する職員研修の一部を合同開催する。	合同開催による効率化（経費負担の軽減）	A：順調（年度の目標値を100%以上達成）

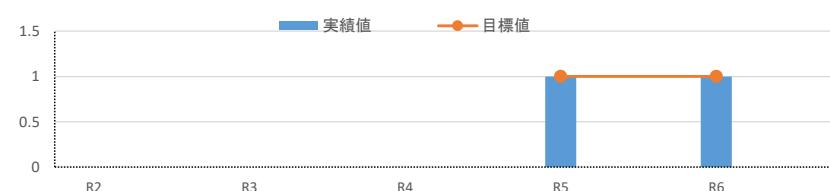
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6		
見込額	975	975	825	1,091	1,053	4,919	合同研修開催回数	目標値	1	1	1	1	1		
決算額	651	695	681	870	1,694	4,591		実績値	4	3	3	4	4		
青森市	事業の企画及び運営（事務手続き、関係機関等との連絡調整、資料の準備等）														
役割分担 連携町村	連絡調整、費用負担等  平内町からのコメント ・令和 6 年度は研修の受講実績がなかったため、積極的な研修の受講を促したい。														



成果	課題・問題点
職員研修の一部への参加を本格的に開始した令和2年度から、毎年度、目標値以上の成果を上げており、令和6年度時点においては目標値を大きく上回っている。	今後は、連携中枢都市圏の参加者に対しても受講後のアンケートを実施し、アンケート結果を参考としてより魅力的かつ効果的な研修を実施していきたい。

## 青森圏域連携中枢都市圏 事業評価シート

事業番号	事業名	連携中枢都市圏の事業期間	担当部局（担当課）
57	RPA活用推進事務	令和 5 年度 ~ 令和 6 年度	総務部（情報管理課）
		役割	連携施策
		圏域全体の生活関連機能サービスの向上	(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

内容							連携効果				目標達成状況																					
職員が専門的知識を要する業務等を行う環境等を創出するため、RPAの活用について、課題等の共有と事例研究や技術トレンドの把握等を行うための連絡会を開催し、RPAの活用を推進する。							圏域でのRPA活用に係る人材育成及びRPA活用の推進				A：順調（年度の目標値を100%以上達成）																					
年度	R2	R3	R4	R5	R6	計	指標	年度	R2	R3	R4	R5	R6																			
見込額				5,094	5,212	10,306	RPA活用推進担当者連絡会開催数	目標値				1	1																			
決算額				4,100	5,061	9,161		実績値				1	1																			
青森市	連絡会の準備・開催、圏域町村等との調整						進捗状況グラフ																									
役割分担	連携町村	事業への参画、協力、圏域町村等との調整						 <table border="1"> <caption>実績値と目標値</caption> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R2</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>R6</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table>							期間	実績値	目標値	R2	1.0	1.0	R3	1.0	1.0	R4	1.0	1.0	R5	1.0	1.0	R6	1.0	1.0
期間	実績値	目標値																														
R2	1.0	1.0																														
R3	1.0	1.0																														
R4	1.0	1.0																														
R5	1.0	1.0																														
R6	1.0	1.0																														

成果		課題・問題点
圏域5市町村で個別に実施しているRPAについて、令和5年度から「RPA活用推進担当者連絡会」において課題等の共有や研修を行い、今後のRPA活用につなげるためのスキルを向上させてきた。本事業開始前と比べ、圏域内におけるRPA導入業務は僅かではあるが増加している。		RPAの対象となる業務の洗い出しに取り組んでいるものの、RPAを活用できる人材が限られていることから導入に至らないケースが散見されており、一層のRPA活用推進を図るために、第2期以降もRPA活用に係る人材育成を推進していく必要がある。